

第2章

二次保健医療圏別 保健医療の概況

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 区中央部保健医療圏 | 8 西多摩保健医療圏 |
| 2 区南部保健医療圏 | 9 南多摩保健医療圏 |
| 3 区西南部保健医療圏 | 10 北多摩西部保健医療圏 |
| 4 区西部保健医療圏 | 11 北多摩南部保健医療圏 |
| 5 区西北部保健医療圏 | 12 北多摩北部保健医療圏 |
| 6 区東北部保健医療圏 | 13 島しょ保健医療圏 |
| 7 区東部保健医療圏 | |

各種データの出典について

1 基本情報

● 図表 人口・面積・人口密度・世帯数等

総務省「国勢調査」（平成 27 年）、国土交通省国土地理院「平成 27 年全国都道府県市区町村別面積調査」

● 図表 病院数

厚生労働省「医療施設調査」（平成 26 年）

● 図表 病院病床数

厚生労働省「医療施設調査」（平成 26 年）

人口 10 万対算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成 27 年）を使用

● 図表 主な入院基本料別病床数

東京都福祉保健局「病床機能報告」（平成 28 年度）

人口 10 万対算出基準となる人口は、東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（平成 28 年 1 月 1 日現在）を使用

● 図表 医療施設（病院・一般診療所・歯科診療所）における従事者の状況

厚生労働省「医療施設調査・病院報告」（平成 26 年）

人口 10 万対算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成 27 年）を使用

2 受療の状況

● 図表 各保健医療圏内施設における圏域住民－圏域外住民の受療割合（病院の推計入院患者）

● 図表 各保健医療圏内住民の圏域内－圏域外受療割合（病院の推計入院患者）

● 図表 区中央部の主要傷病別流入流出状況（病院の推計入院患者）

厚生労働省「患者調査」（平成 26 年）

● 図表 各圏域の医療機関に入院する患者の住所地

厚生労働省「必要病床数等推計ツール」

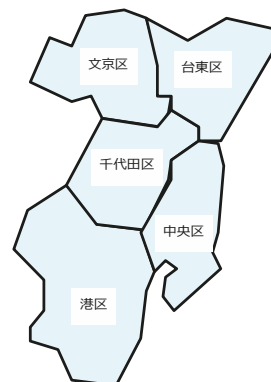
※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が 10 未満の場合、非公表のため、10 未満の数値は未集計

● 図表 医療機関所在地ベースの推計患者数／（参考）患者住所地ベースの推計患者数

- 主要疾患別にみた患者の伸び率と自構想区域完結率（2025 年）
厚生労働省「必要病床数等推計ツール」
- 図表 平成 37 年（2025 年）の病床数の必要量等
東京都地域医療構想（平成 28 年 7 月）

1 区中央部保健医療圏

地理上の位置



1 基本情報

1 人口・面積

図表 人口・面積・人口密度・世帯数等

区 分	人 口（人）			面 積 (km ²)	人口密度 (人 / km ²)	世 帯 数 (世帯)	一世帯当 たり人員 (人)
	総 数	男 性	女 性				
東 京 都	13,515,271	6,666,690	6,848,581	2,190.93	6,168.7	6,701,122	2.02
区中央部	860,669	419,568	441,101	63.64	13,524	476,071	1.81

出典：総務省「国勢調査」(平成 27 年) 国土交通省国土地理院「平成 27 年全国都道府県市区町村別面積調査」

人口は平成 27 年 10 月 1 日現在 860,669 人であり、東京都の人口の 6.4%に当たります。

2 医療施設・医療従事者の状況

図表 病院数

区 分	区中央部	東 京 都
病 院 総 数	51	642
一 般 病 院	50	592
精 神 科 病 院	1	50
結 核 療 養 所	0	0
【再掲】地域医療支援病院	3	25
【再掲】救急告示病院	25	310
【再掲】療養病床を有する病院	10	245
一 般 診 療 所	2,111	12,780
【再掲】有床診療所	39	431

出典：厚生労働省「医療施設調査」(平成 26 年 10 月)

図表 病院病床数

区 分	病床数		人口10万対病床数	
	区中央部	東京都	区中央部	東京都
病院病床総数	13,566	127,110	1576.2	940.5
一般病床	12,629	81,125	1467.3	600.2
療養病床	585	22,708	68.0	168.0
精神病床	304	22,612	35.3	167.3
結核病床	18	520	2.1	3.8
感染症病床	30	145	3.5	1.1

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

出典：厚生労働省「医療施設調査」（平成26年10月）

図表 主な入院基本料別病床数

区中央部の届出状況	病床数	区中央部 人口10万対	（参考）都内 人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	4,640	547.4	86.4
一般病棟7対1入院基本料	4,956	584.7	250.7
一般病棟10対1入院基本料	492	58.0	88.5
一般病棟13対1入院基本料	0	0.0	17.8
一般病棟15対1入院基本料	104	12.3	21.4
療養病棟入院基本料 ※1	354	216.0	470.2
療養型介護療養施設サービス費 （介護療養病床として使用） ※2	79	48.2	146.2
障害者施設等入院基本料	0	0.0	31.3
特殊疾患入院医療管理料/入院料	20	2.4	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	239	28.2	47.8
地域包括ケア病棟入院料/管理料	249	29.4	18.7
緩和ケア病棟入院料	63	7.4	4.0

※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は高齢者人口を使用。

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（平成28年1月1日現在）を用いた。

出典：「平成28年度病床機能報告」

図表 医療施設（病院・一般診療所・歯科診療所）における従事者の状況

区 分	区中央部	東京都		
		人口 10 万対	人口 10 万対	
医 師	10723.5	1,245.9	47,278.0	349.8
歯 科 医 師	3940.6	457.9	17,653.4	130.6
薬 剤 師	1088.0	126.4	5,554.7	41.1
保 健 師	461.5	53.6	1,911.0	14.1
助 産 師	491.3	57.1	3,397.5	25.1
看 護 師	15,360.9	1,784.8	84,349.0	624.1
准 看 護 師	609.4	70.8	12,042.5	89.1
歯 科 衛 生 士	2,742.2	316.5	12,468.0	92.3
歯 科 技 工 士	323.8	37.6	1,078.8	8.0
理 学 療 法 士	436.2	50.7	6,005.5	44.4
作 業 療 法 士	153.9	17.9	2,899.6	21.5
診 療 放 射 線 技 師	1,296.3	150.5	5,719.1	42.3
診療エックス線技師	77.8	9.0	250.8	1.9
臨 床 工 学 技 士	390.1	45.3	2,469.5	18.3

注1：従事者数は、常勤換算（従事者について、その職務に従事した1週間の勤務時間を当該医療施設の通常の1週間の勤務時間で除した数）である。

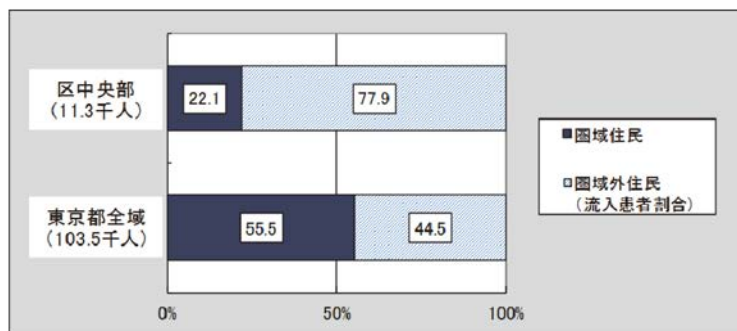
注2：病院、一般診療所及び歯科診療所の従事者の計である。

注3：人口10万対従事者数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

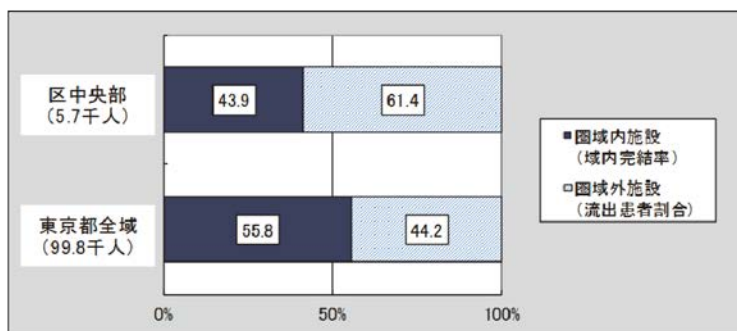
出典：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」（平成26年10月）

2 受療の状況

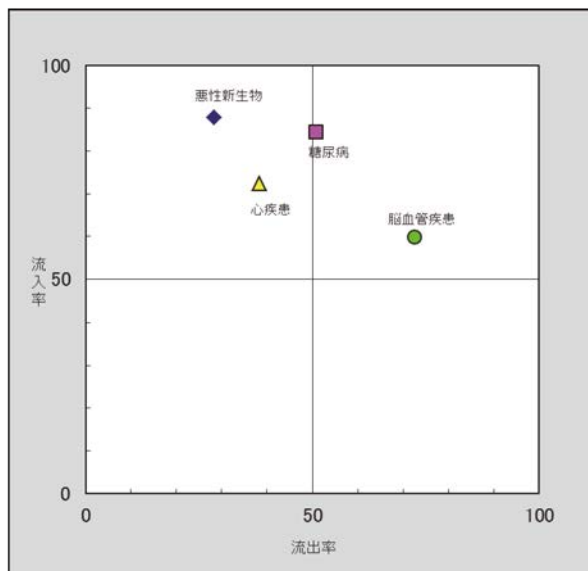
図表 区中央部保健医療圏内施設における
圏域住民－圏域外住民の受療割合
(病院の推計入院患者)



図表 区中央部保健医療圏内住民の
圏域内－圏域外受療割合
(病院の推計入院患者)



図表 区中央部の主要傷病別流入流出状況
(病院の推計入院患者)



資料：厚生労働省「患者調査」(平成26年)

この圏域における病院（入院）の受療割合をみると、流入患者割合 77.9% に対して流出患者割合 61.4% と大幅な流入超過になっており、流入率は他の圏域に比べて最も高くなっています。

域内完結率は 43.9% と東京都全域の割合を下回っており、他の圏域と比べても低い水準です。

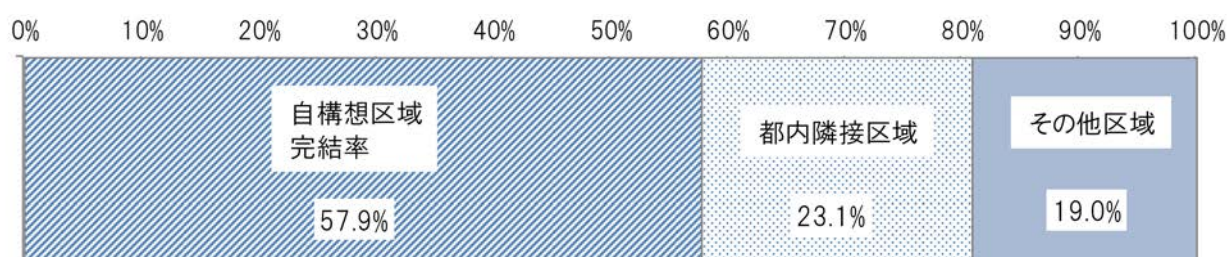
主要傷病別流入流出状況をみると、悪性新生物、脳血管疾患、心疾患、糖尿病のいずれにおいても流入率が 50% 以上になっています。

<高度急性期機能>

図表 区中央部の医療機関に入院する患者の住所地



図表 区中央部在住の患者が入院する医療機関の所在地

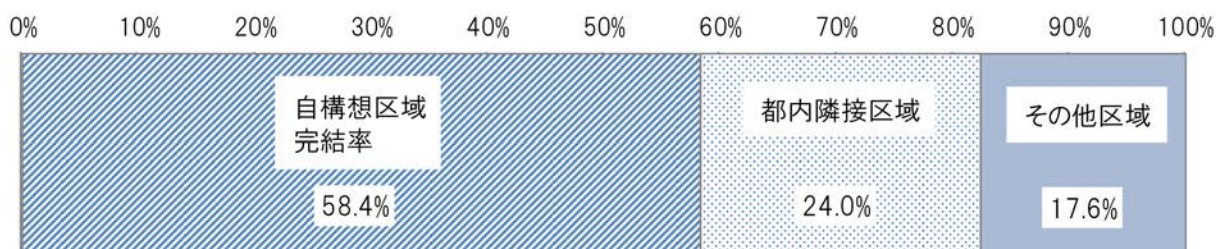


<急性期機能>

図表 区中央部の医療機関に入院する患者の住所地



図表 区中央部在住の患者が入院する医療機関の所在地

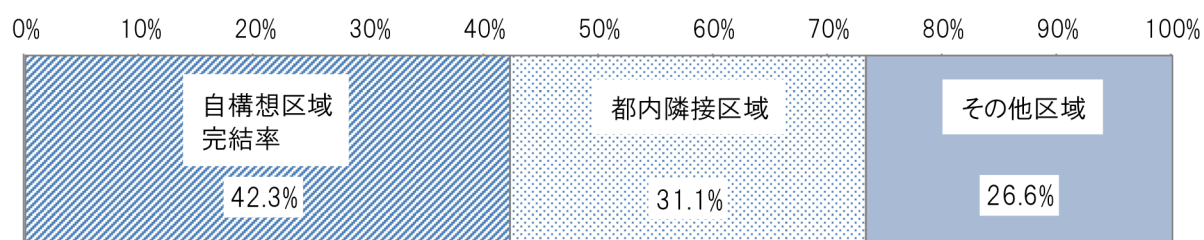


<回復期機能>

図表 区中央部の医療機関に入院する患者の住所地

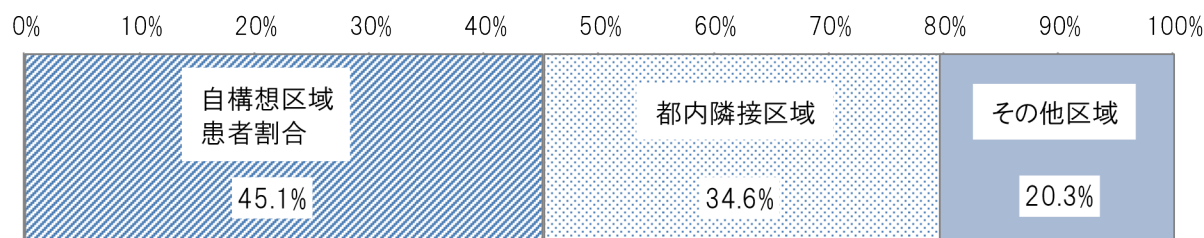


図表 区中央部在住の患者が入院する医療機関の所在地



<慢性期機能>

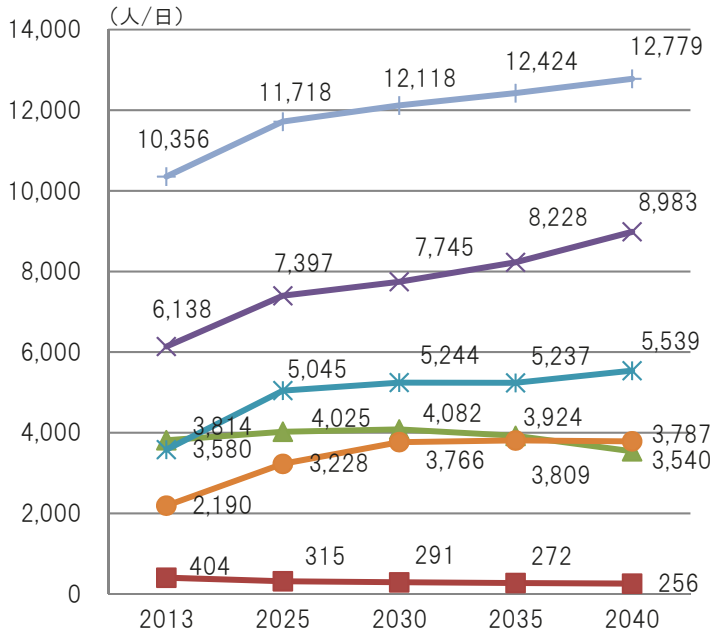
図表 区中央部の医療機関に入院する患者の住所地



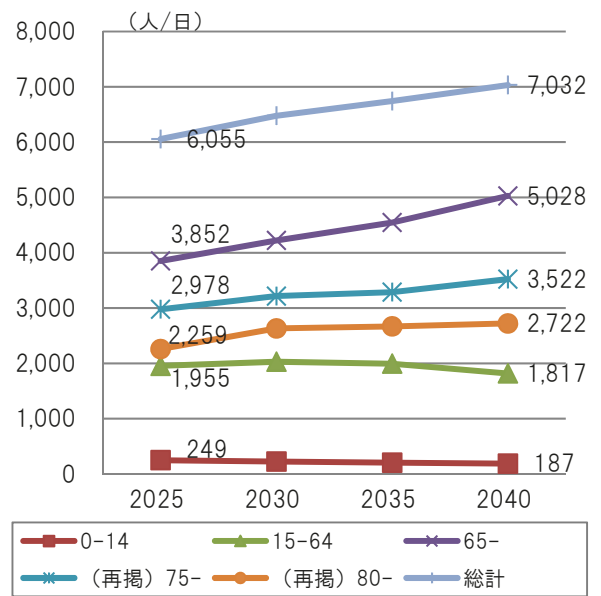
図表 区中央部在住の患者が入院する医療機関の所在地



図表 医療機関所在地ベースの推計患者数

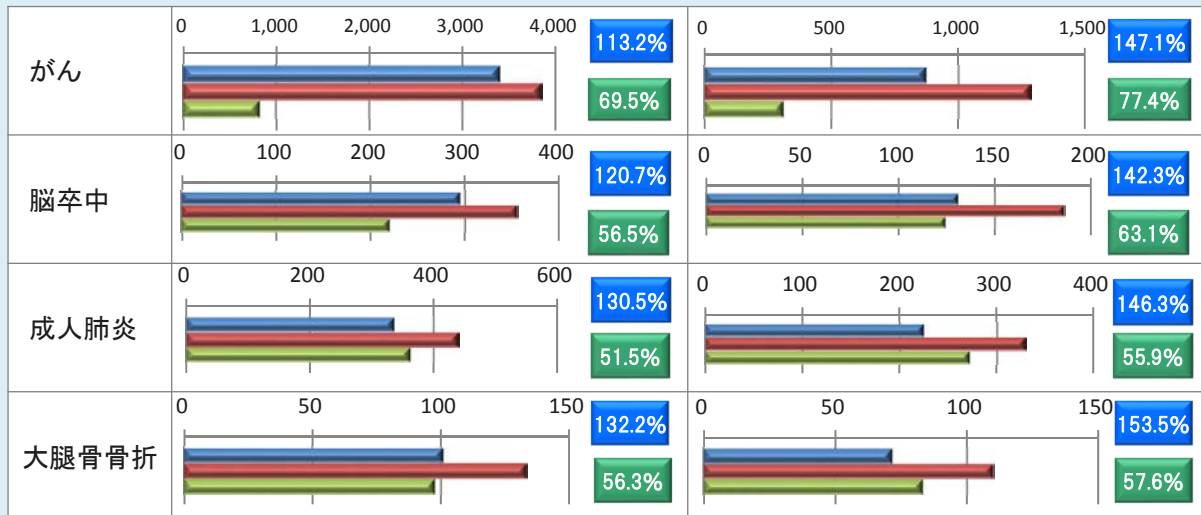


(参考) 患者住所地ベースの推計患者数



注 平成 25 年（2013 年）における医療需要は、医療機関所在地ベースにて算出されるため、患者住所地ベースの医療需要推計は平成 37 年（2025 年）以降を掲載

主要疾患別にみた患者の伸び率と自構想区域完結率（2025年）【グラフ左側：全年齢／右側：75歳以上】



【凡例】

■ 2013年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年患者住所地ベースの患者数(人/日)

患者伸び率

自構想区域完結率

<圏域の特徴>

高度急性期機能	・ 特定機能病院が6施設（大学病院本院は5施設）あり、高度医療提供施設が集積し、様々な地域から患者が流入 ・ 自構想区域完結率は57.9%で、都内隣接区域を含めると81.0%
急性期機能	・ 自構想区域完結率は58.4%で、都内隣接区域を含めると82.4% ・ 高度急性期機能から継続して入院している患者も含め、様々な地域から患者が流入 ・ 特に区東北部及び区東部から、1日当たり500人以上の患者が流入 ・ 他地域から多くの患者を受け入れる一方で、区中央部在住の患者のうち41.6%が他の構想区域に流出
回復期機能	・ 自構想区域完結率は42.3%と島しょを除くと都内構想区域の中で最も低いが、都内隣接区域を含めると73.4% ・ 人口10万人当たりの回復期リハビリテーション病床数は、都平均の約6割
慢性期機能	・ 高齢者人口10万人当たりの医療療養病床数は、都平均の約5割、介護療養病床数は都平均の約3割 ・ ほぼ全ての構想区域に流出しているが、流出先の上位は区部の隣接区域

図表 平成37年（2025年）の病床数の必要量等

(上段:人/日、下段:床)					(人/日)	
	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	在宅医療等	(再掲) 訪問診療のみ
患者数	2,498	5,212	3,463	559	11,864	9,055
病床数	3,331	6,682	3,848	608	—	—

注 高度急性期機能から慢性期機能までは、いずれも医療機関所在地ベースの考えに基づき、また、在宅医療等については、患者住所地ベースで将来の必要量を推計

2 区南部保健医療圏

地理上の位置



1 基本情報

1 人口・面積

図表 人口・面積・人口密度・世帯数等

区 分	人 口 (人)			面 積 (km ²)	人口密度 (人 / km ²)	世 帯 数 (世帯)	一世帯当 たり人員 (人)
	総 数	男 性	女 性				
東 京 都	13,515,271	6,666,690	6,848,581	2,190.93	6,168.7	6,701,122	2.02
区 南 部	1,103,937	550,843	553,094	83.5	13,221	583,523	1.89

出典：総務省「国勢調査」(平成 27 年) 国土交通省国土地理院「平成 27 年全国都道府県市区町村別面積調査」

人口は平成 27 年 10 月 1 日現在 1,103,937 人であり、東京都の人口の 8.2%に当たります。

2 医療施設・医療従事者の状況

図表 病院数

区 分	区南部	東 京 都
病 院 総 数	42	642
一 般 病 院	41	592
精 神 科 病 院	1	50
結 核 療 養 所	0	0
【再掲】地域医療支援病院	3	25
【再掲】救急告示病院	22	310
【再掲】療養病床を有する病院	19	245
一 般 診 療 所	998	12,780
【再掲】有床診療所	31	431

出典：厚生労働省「医療施設調査」(平成 26 年 10 月)

図表 病院病床数

区 分	病床数		人口10万対病床数	
	区南部	東京都	区南部	東京都
病院病床総数	7,993	127,110	724.0	940.5
一般病床	6,283	81,125	569.1	600.2
療養病床	1,512	22,708	137.0	168.0
精神病床	178	22,612	16.1	167.3
結核病床	0	520	0.0	3.8
感染症病床	30	145	1.8	1.1

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

出典：厚生労働省「医療施設調査」（平成26年10月）

図表 主な入院基本料別病床数

区南部の届出状況	病床数	区南部 人口10万対	（参考）都内 人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	1,437	131.8	86.4
一般病棟7対1入院基本料	3,212	294.6	250.7
一般病棟10対1入院基本料	469	43.0	88.5
一般病棟13対1入院基本料	66	6.1	17.8
一般病棟15対1入院基本料	84	7.7	21.4
療養病棟入院基本料 ※1	787	326.6	470.2
療養型介護療養施設サービス費 （介護療養病床として使用） ※2	324	134.5	146.2
障害者施設等入院基本料	49	4.5	31.3
特殊疾患入院医療管理料/入院料	0	0.0	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	572	52.5	47.8
地域包括ケア病棟入院料/管理料	270	24.8	18.7
緩和ケア病棟入院料	45	4.1	4.0

※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は高齢者人口を使用。

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（平成28年1月1日現在）を用いた。

出典：「平成28年度病床機能報告」

図表 医療施設（病院・一般診療所・歯科診療所）における従事者の状況

区 分	区南部	東京都		
		人口 10 万対	人口 10 万対	
医 師	3,607.9	326.7	47,278.0	349.8
歯 科 医 師	1,597.9	144.7	17,653.4	130.6
薬 剤 師	400.4	36.3	5,554.7	41.1
保 健 師	580.3	52.6	1,911.0	14.1
助 産 師	270.3	24.5	3,397.5	25.1
看 護 師	5,838.7	528.9	84,349.0	624.1
准 看 護 師	649.6	58.8	12,042.5	89.1
歯 科 衛 生 士	907.3	82.2	12,468.0	92.3
歯 科 技 工 士	78.5	7.2	1,078.8	8.0
理 学 療 法 士	432.1	39.1	6,005.5	44.4
作 業 療 法 士	164.5	14.9	2,899.6	21.5
診 療 放 射 線 技 師	409.9	37.1	5,719.1	42.3
診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	16.4	1.5	250.8	1.9
臨 床 工 学 技 士	183.9	16.7	2,469.5	18.3

注1：従事者数は、常勤換算（従事者について、その職務に従事した1週間の勤務時間を当該医療施設の通常の1週間の勤務時間で除した数）である。

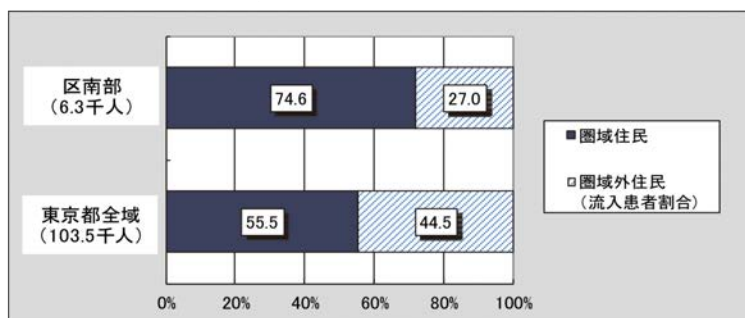
注2：病院、一般診療所及び歯科診療所の従事者の計である。

注3：人口10万対従事者数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

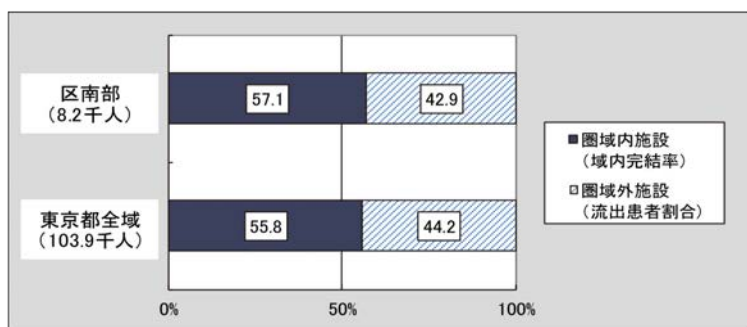
出典：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」（平成26年10月）

2 受療の状況

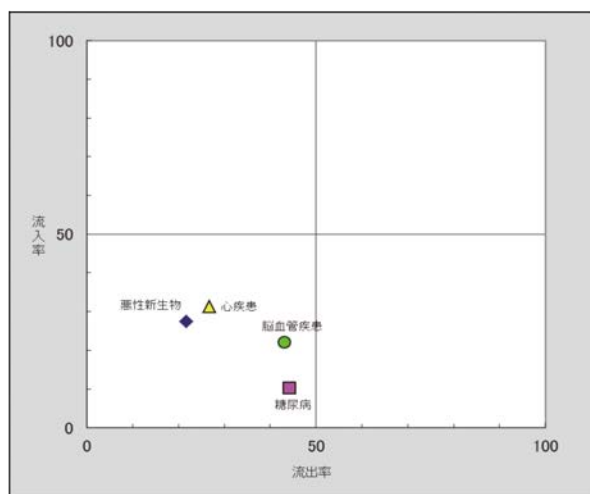
図表 区南部保健医療圏内施設における
圏域住民－圏域外住民の受療割合
（病院の推計入院患者）



図表 区南部保健医療圏内住民の
圏域内－圏域外受療割合
（病院の推計入院患者）



図表 区南部の主要傷病別流入流出状況
（病院の推計入院患者）



資料：厚生労働省「患者調査」（平成26年）

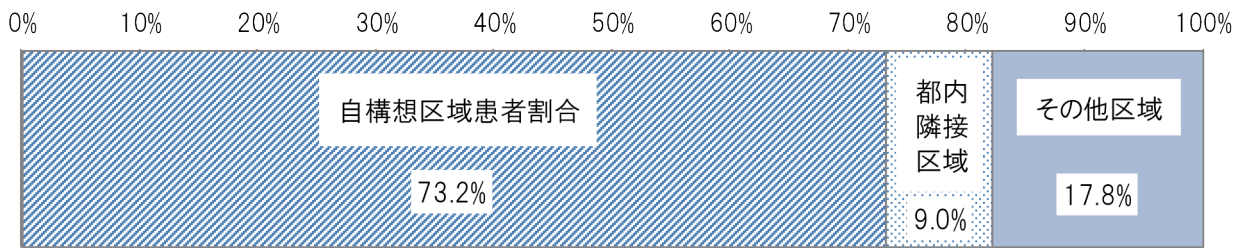
この圏域における病院（入院）の受療割合をみると、流入患者割合27.0％に対して流出患者割合42.9％と大幅な流出超過になっています。

域内完結率は57.1％と東京都全域の割合をやや上回っています。

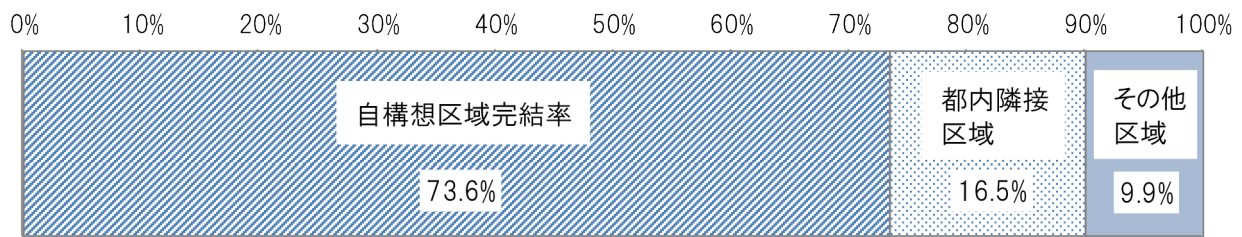
主要傷病別流入流出状況をみると、悪性新生物、脳血管疾患、心疾患、糖尿病のいずれにおいても、流入及び流出率がともに50％以内に収束しています。

<高度急性期機能>

図表 区南部の医療機関に入院する患者の住所地

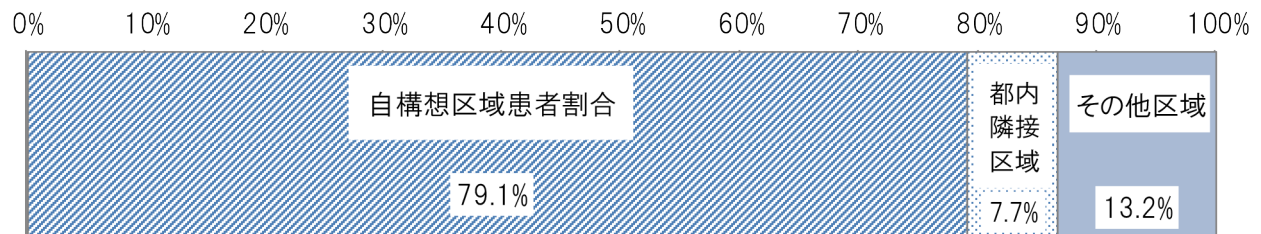


図表 区南部在住の患者が入院する医療機関の所在地

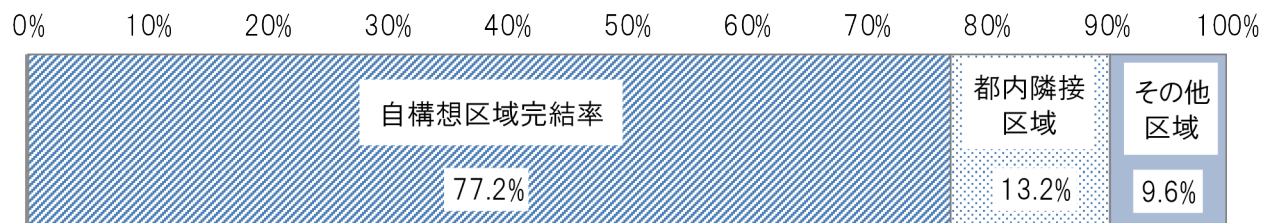


<急性期機能>

図表 区南部の医療機関に入院する患者の住所地



図表 区南部在住の患者が入院する医療機関の所在地

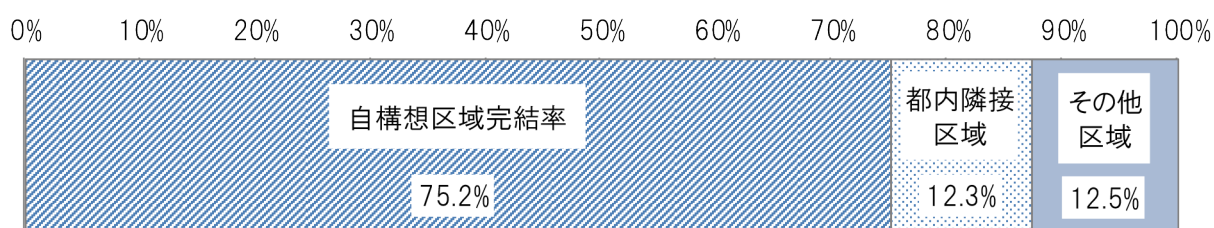


<回復期機能>

図表 区南部の医療機関に入院する患者の住所地

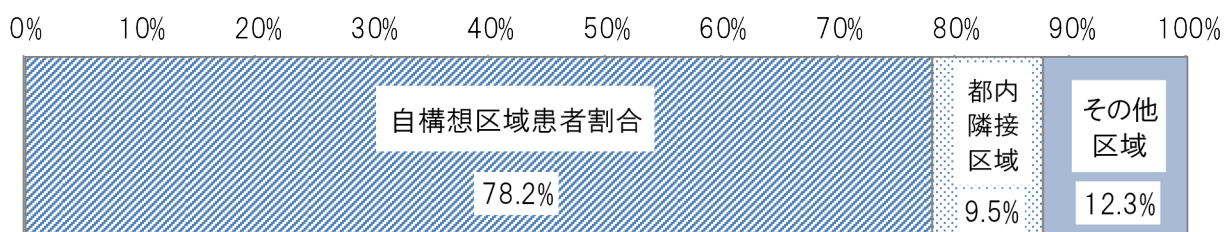


図表 区南部在住の患者が入院する医療機関の所在地



<慢性期機能>

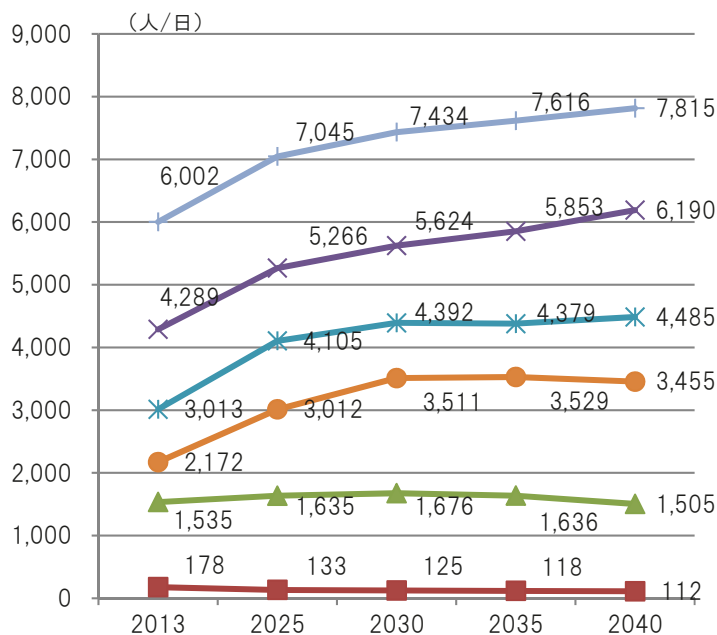
図表 区南部の医療機関に入院する患者の住所地



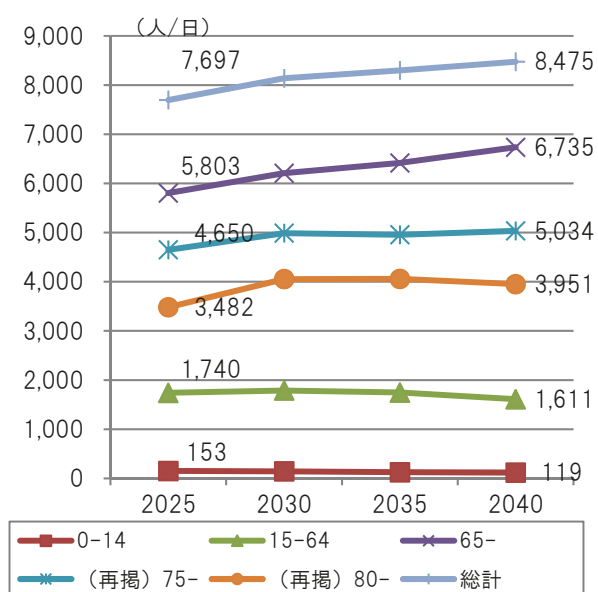
図表 区南部在住の患者が入院する医療機関の所在地



図表 医療機関所在地ベースの推計患者数

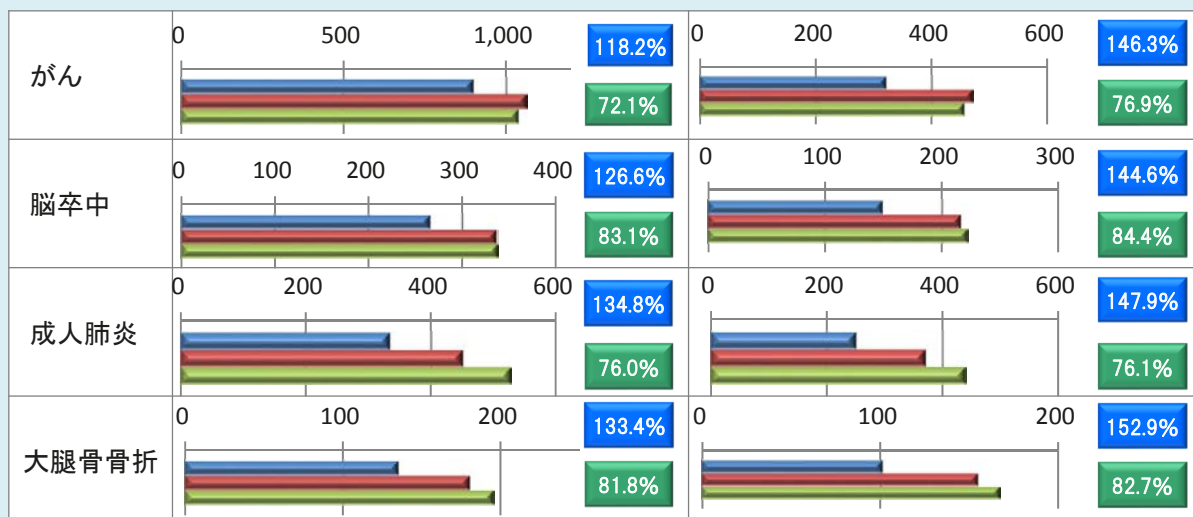


(参考) 患者住所地ベースの推計患者数



注 平成 25 年（2013 年）における医療需要は、医療機関所在地ベースにて算出されるため、患者住所地ベースの医療需要推計は平成 37 年（2025 年）以降を掲載

主要疾患別にみた患者の伸び率と自構想区域完結率（2025年）【グラフ左側：全年齢／右側：75歳以上】



【凡例】

■ 2013年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年患者住所地ベースの患者数(人/日)

患者伸び率

自構想区域完結率

＜圏域の特徴＞

高度急性期機能	・ 特定機能病院が2施設（大学病院本院は2施設）所在 ・ 自構想区域完結率は73.6%と都内で最も高く、都内隣接区域を含めると90.1%
急性期機能	・ 流出患者数と流入患者数がほぼ均衡 ・ 自構想区域完結率は77.2%と都内で最も高く、都内隣接区域を含めると90.4%
回復期機能	・ 流出患者数と流入患者数がほぼ均衡しており、流出入の傾向は急性期機能と同様 ・ 自構想区域完結率は75.2%と区部で最も高く、都内隣接区域を含めると87.5%
慢性期機能	・ 高齢者人口10万人当たりの医療療養病床数は、都平均の約7割、介護療養病床数は、都平均の約9倍 ・ 患者の約半数が流出しており、流出先としては、区西南部や神奈川県が多い。 ・ 自構想区域完結率は46.5%で、都内隣接区域を含めても6割を切る。

図表 平成37年（2025年）の病床数の必要量等

(上段:人/日、下段:床)					(人/日)	
	高度急性期 機能	急性期 機能	回復期 機能	慢性期 機能	在宅医療等	(再掲) 訪問診療のみ
患者数	1,012	2,780	2,457	853	17,700	13,728
病床数	1,349	3,564	2,730	927	—	—

注 高度急性期機能から慢性期機能までは、いずれも医療機関所在地ベースの考えに基づき、また、在宅医療等については、患者住所地ベースで将来の必要量を推計

3 区西南部保健医療圏

地理上の位置



1 基本情報

1 人口・面積

図表 人口・面積・人口密度・世帯数等

区 分	人 口（人）			面 積	人口密度	世 帯 数	一世帯当 たり人員
	総 数	男 性	女 性	(km ²)	(人 / km ²)	(世帯)	(人)
東 京 都	13,515,271	6,666,690	6,848,581	2,190.93	6,168.7	6,701,122	2.02
区西南部	1,405,501	667,807	737,694	87.83	16,003	745,543	1.89

出典：総務省「国勢調査」(平成 27 年) 国土交通省国土地理院「平成 27 年全国都道府県市区町村別面積調査」

人口は平成 27 年 10 月 1 日現在 1,405,501 人であり、東京都の人口の 10.4%に当たります。

2 医療施設・医療従事者の状況

図表 病院数

区 分	区西南部	東 京 都
病 院 総 数	50	642
一 般 病 院	50	592
精 神 科 病 院	0	50
結 核 療 養 所	0	0
【再掲】地域医療支援病院	4	25
【再掲】救急告示病院	30	310
【再掲】療養病床を有する病院	17	245
一 般 診 療 所	1,670	12,780
【再掲】有床診療所	49	431

出典：厚生労働省「医療施設調査」(平成 26 年 10 月)

図表 病院病床数

区 分	病床数		人口10万対病床数	
	区西南部	東京都	区西南部	東京都
病院病床総数	10,883	127,110	774.3	940.5
一般病床	7,858	81,125	559.1	600.2
療養病床	1,681	22,708	119.6	168.0
精神病床	1,307	22,612	93.0	167.3
結核病床	27	520	1.9	3.8
感染症病床	10	145	0.7	1.1

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」(平成27年)を用いた。

出典：厚生労働省「医療施設調査」(平成26年10月)

図表 主な入院基本料別病床数

区西南部の届出状況	病床数	区西南部 人口10万対	(参考) 都内 人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	0	0.0	86.4
一般病棟7対1入院基本料	4,335	315.4	250.7
一般病棟10対1入院基本料	1,175	85.5	88.5
一般病棟13対1入院基本料	222	16.1	17.8
一般病棟15対1入院基本料	360	26.2	21.4
療養病棟入院基本料 ※1	963	351.6	470.2
療養型介護療養施設サービス費 (介護療養病床として使用) ※2	348	127.1	146.2
障害者施設等入院基本料	254	18.5	31.3
特殊疾患入院医療管理料/入院料	0	0.0	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	774	56.3	47.8
地域包括ケア病棟入院料/管理料	260	18.9	18.7
緩和ケア病棟入院料	18	1.3	4.0

※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は高齢者人口を使用。

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」
(平成28年1月1日現在)を用いた。

出典：「平成28年度病床機能報告」

図表 医療施設（病院・一般診療所・歯科診療所）における従事者の状況

区 分	区西南部		東京都	
		人口 10 万対		人口 10 万対
医 師	4,990.6	355.1	47,278.0	349.8
歯 科 医 師	1,986.9	141.4	17,653.4	130.6
薬 剤 師	524.5	37.2	5,554.7	41.1
保 健 師	39.8	2.8	1,911.0	14.1
助 産 師	602.9	42.8	3,397.5	25.1
看 護 師	8,653.6	615.7	84,349.0	624.1
准 看 護 師	728.6	51.8	12,042.5	89.1
歯 科 衛 生 士	1,351.2	96.1	12,468.0	92.3
歯 科 技 工 士	112.4	8.0	1,078.8	8.0
理 学 療 法 士	631.9	45.0	6,005.5	44.4
作 業 療 法 士	265.9	18.9	2,899.6	21.5
診 療 放 射 線 技 師	496.0	35.3	5,719.1	42.3
診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	11.6	0.8	250.8	1.9
臨 床 工 学 技 士	204.4	14.5	2,469.5	18.3

注1：従事者数は、常勤換算（従事者について、その職務に従事した1週間の勤務時間を当該医療施設の通常の1週間の勤務時間で除した数）である。

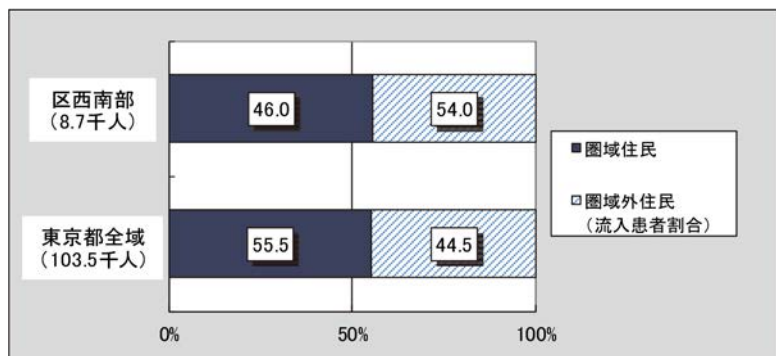
注2：病院、一般診療所及び歯科診療所の従事者の計である。

注3：人口10万対従事者数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

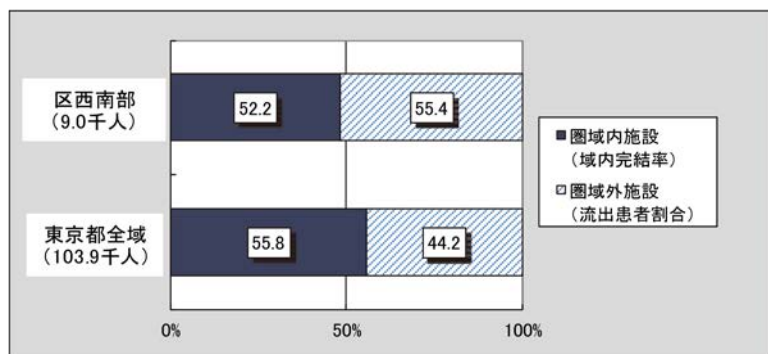
出典：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」（平成26年10月）

2 受療の状況

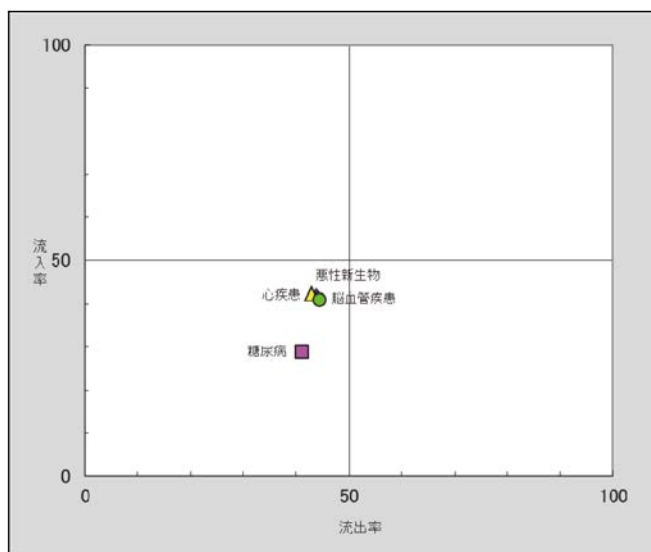
図表 区西南部保健医療圏内施設における
圏域住民－圏域外住民の受療割合
（病院の推計入院患者）



図表 区西南部保健医療圏内住民の
圏域内－圏域外受療割合
（病院の推計入院患者）



図表 区西南部の主要傷病別流入流出状況
（病院の推計入院患者）



資料：厚生労働省「患者調査」（平成26年）

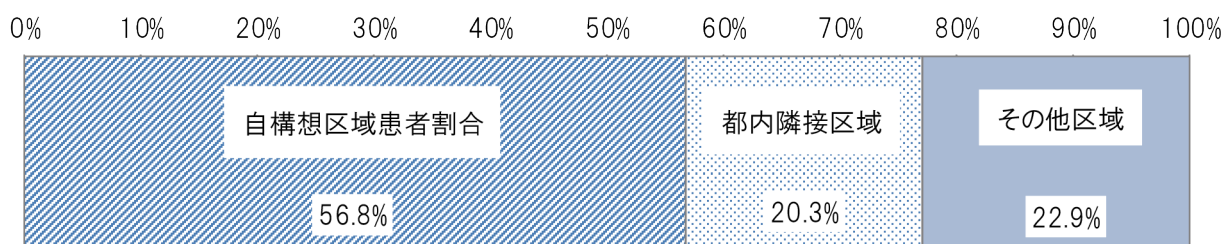
この圏域における病院（入院）の受療割合をみると、流入患者割合54.0%に対して流出患者割合55.4%となっており、流出率が流入率をやや上回っています。

域内完結率は52.2%と東京都全域の割合をかなり下回っています。

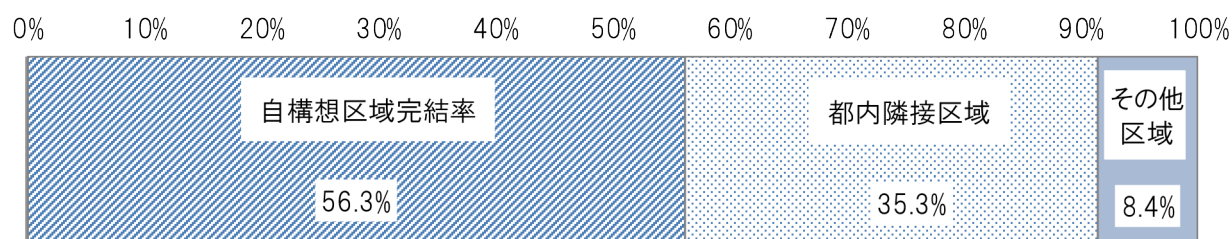
主要傷病別流入流出状況をみると、悪性新生物、脳血管疾患、心疾患、糖尿病のいずれにおいても、流入及び流出率が50%以内に収束しています。

<高度急性期機能>

図表 区西南部の医療機関に入院する患者の住所地

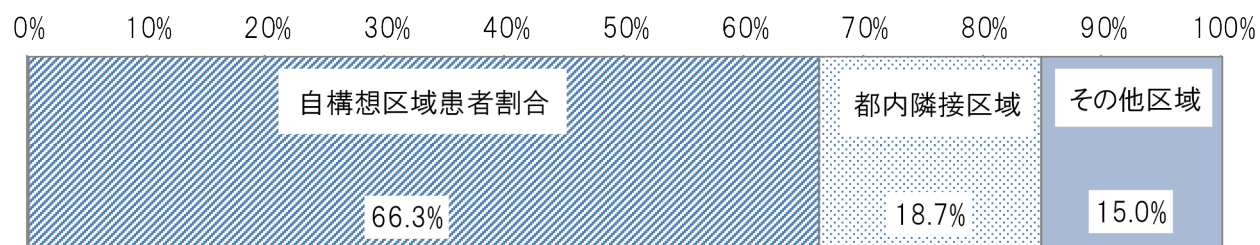


図表 区西南部在住の患者が入院する医療機関の所在地

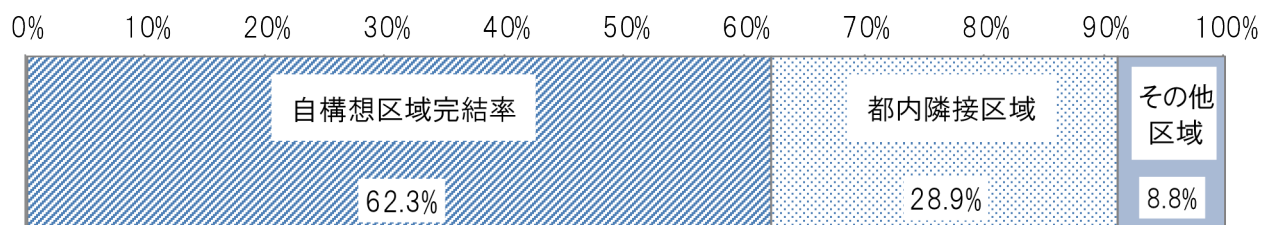


<急性期機能>

図表 区西南部の医療機関に入院する患者の住所地

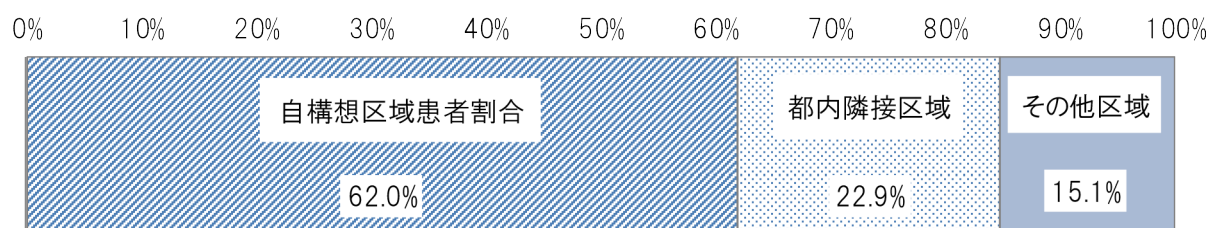


図表 区西南部在住の患者が入院する医療機関の所在地

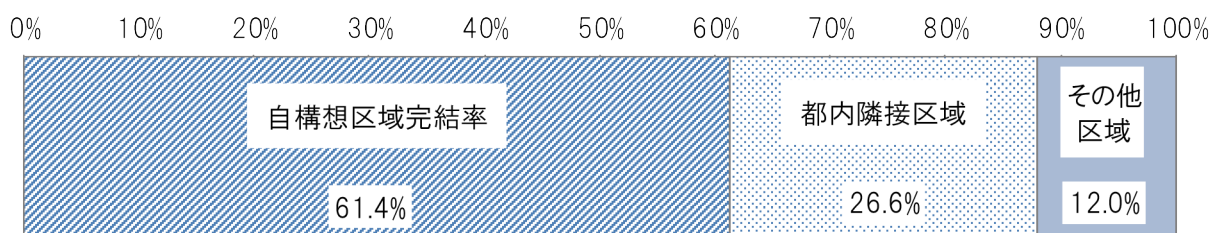


<回復期機能>

図表 区西南部の医療機関に入院する患者の住所地

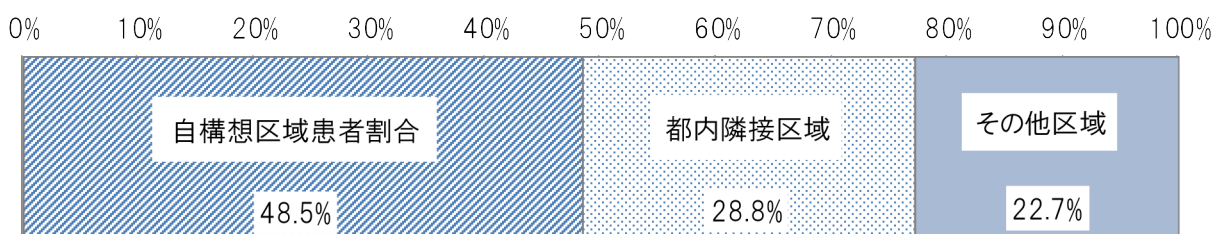


図表 区西南部在住の患者が入院する医療機関の所在地

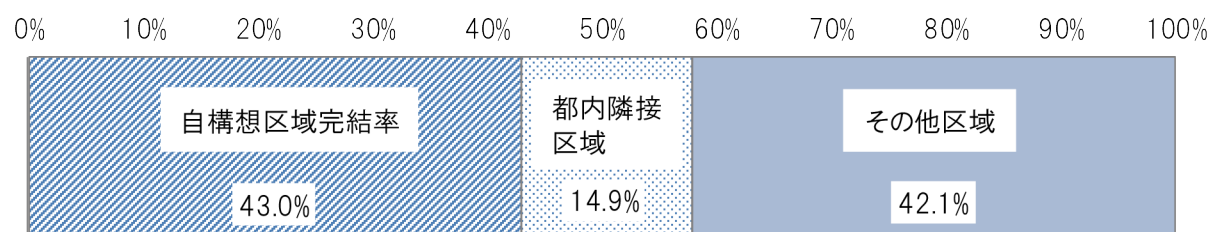


<慢性期機能>

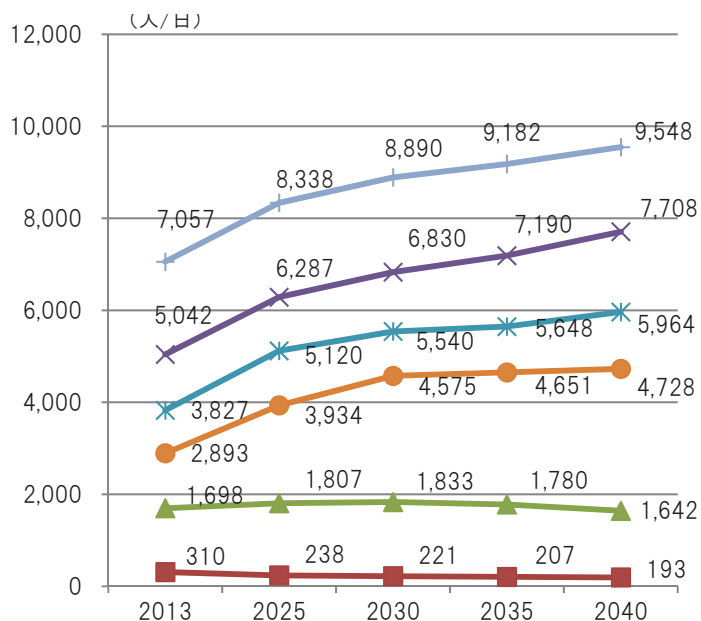
図表 区西南部の医療機関に入院する患者の住所地



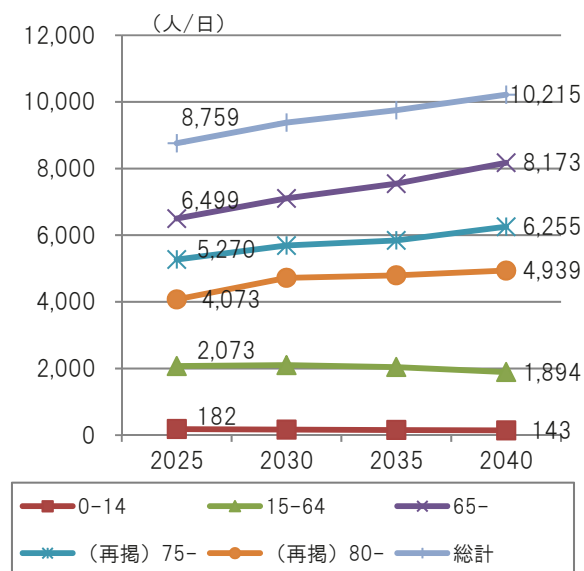
図表 区西南部在住の患者が入院する医療機関の所在地



図表 医療機関所在地ベースの推計患者数

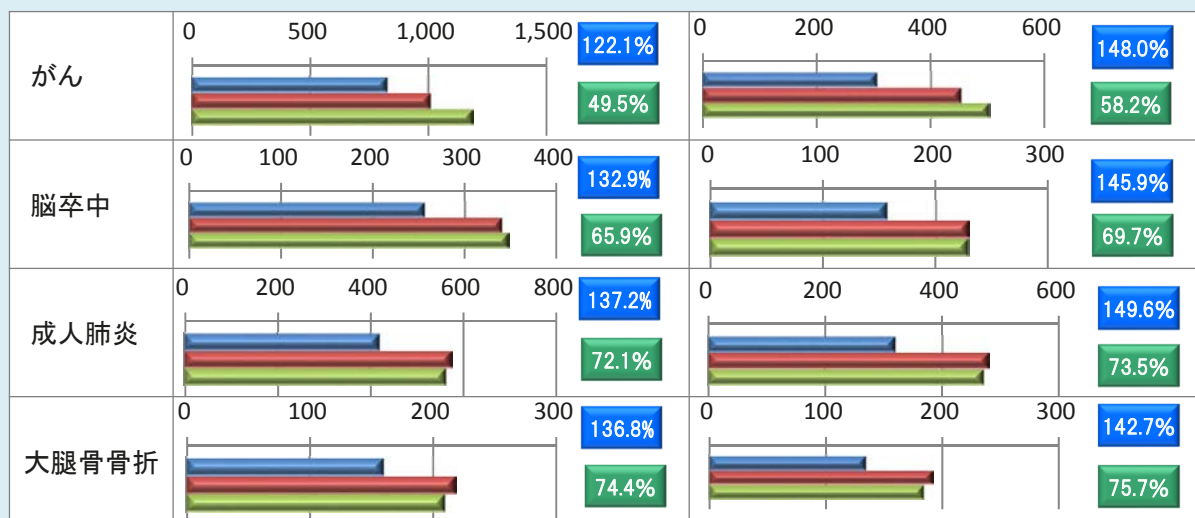


(参考) 患者住所地ベースの推計患者数



注 平成 25 年（2013 年）における医療需要は、医療機関所在地ベースにて算出されるため、患者住所地ベースの医療需要推計は平成 37 年（2025 年）以降を掲載

主要疾患別にみた患者の伸び率と自構想区域完結率（2025年）【グラフ左側：全年齢／右側：75歳以上】



【凡例】

■ 2013年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年患者住所地ベースの患者数(人/日)

患者伸び率

自構想区域完結率

＜圏域の特徴＞

高度急性期機能	・ 自構想区域完結率は 56.3% だが、都内隣接区域を含めると 91.6% で都内で最も高い。 ・ 隣接する構想区域には、高度急性期機能が集積
急性期機能	・ 自構想区域完結率は 62.3% だが、都内隣接区域を含めると 91.3% と高い。 ・ 高度急性期機能から継続して入院している患者も含め、隣接区域への流出が多い。
回復期機能	・ 自構想区域完結率は 61.4% だが、都内隣接区域を含めると 88.0% ・ 人口 10 万人当たりの回復期リハビリテーション病床数は、都平均の約 1.2 倍 ・ 流出患者数と流入患者数がほぼ均衡しており、流出入の傾向は急性期機能と同様割
慢性期機能	・ 高齢者人口 10 万人当たりの医療療養病床数は都平均の約 7 割、介護療養病床数は都平均の約 9 割 ・ 区西部や神奈川県との間での流出と流入がともに多い。

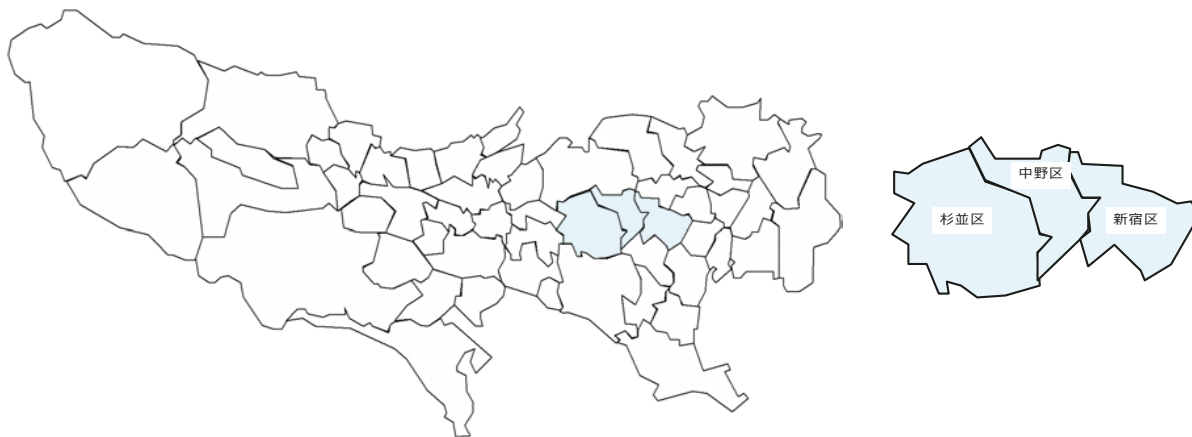
図表 平成 37 年（2025 年）の病床数の必要量等

(上段: 人/日、下段: 床)					(人/日)	
	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	在宅医療等	(再掲) 訪問診療のみ
患者数	1,119	2,894	2,772	1,565	24,344	19,273
病床数	1,492	3,710	3,080	1,701	—	—

注 高度急性期機能から慢性期機能までは、いずれも医療機関所在地ベースの考えに基づき、また、在宅医療等については、患者住所地ベースで将来の必要量を推計

4 区西部保健医療圏

地理上の位置



1 基本情報

1 人口・面積

図表 人口・面積・人口密度・世帯数等

区 分	人 口 (人)			面 積	人口密度	世 帯 数	一世帯当 たり人員
	総 数	男 性	女 性	(km ²)	(人 / km ²)	(世帯)	(人)
東 京 都	13,515,271	6,666,690	6,848,581	2,190.93	6,168.7	6,701,122	2.02
区 西 部	1,225,772	604,377	621,395	67.87	18,061	713,122	1.72

出典：総務省「国勢調査」(平成 27 年) 国土交通省国土地理院「平成 27 年全国都道府県市区町村別面積調査」

人口は平成 27 年 10 月 1 日現在 1,225,772 人であり、東京都の人口の 9.1%に当たります。

2 医療施設・医療従事者の状況

図表 病院数

区 分	区 西 部	東 京 都
病 院 総 数	43	642
一 般 病 院	42	592
精 神 科 病 院	1	50
結 核 療 養 所	0	0
【再掲】地域医療支援病院	2	25
【再掲】救急告示病院	27	310
【再掲】療養病床を有する病院	17	245
一 般 診 療 所	1,401	12,780
【再掲】有床診療所	49	431

出典：厚生労働省「医療施設調査」(平成 26 年 10 月)

図表 病院病床数

区 分	病床数		人口10万対病床数	
	区西部	東京都	区西部	東京都
病院病床総数	10,579	127,110	863.0	940.5
一般病床	8,731	81,125	712.3	600.2
療養病床	1,489	22,708	121.5	168.0
精神病床	315	22,612	25.7	167.3
結核病床	40	520	3.3	3.8
感染症病床	4	145	0.3	1.1

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

出典：厚生労働省「医療施設調査」（平成26年10月）

図表 主な入院基本料別病床数

区西部の届出状況	病床数	区西部 人口10万対	（参考）都内 人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	2,313	191.3	86.4
一般病棟7対1入院基本料	3,562	294.6	250.7
一般病棟10対1入院基本料	813	67.2	88.5
一般病棟13対1入院基本料	48	4.0	17.8
一般病棟15対1入院基本料	70	5.8	21.4
療養病棟入院基本料 ※1	1,077	430.4	470.2
療養型介護療養施設サービス費 （介護療養病床として使用） ※2	195	77.9	146.2
障害者施設等入院基本料	0	0.0	31.3
特殊疾患入院医療管理料/入院料	0	0.0	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	644	53.3	47.8
地域包括ケア病棟入院料/管理料	284	23.5	18.7
緩和ケア病棟入院料	111	9.2	4.0

※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は高齢者人口を使用。

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（平成28年1月1日現在）を用いた。

出典：「平成28年度病床機能報告」

図表 医療施設（病院・一般診療所・歯科診療所）における従事者の状況

区 分	区西部		東京都	
		人口 10 万対		人口 10 万対
医 師	6,350.8	518.1	47,278.0	349.8
歯 科 医 師	1,880.2	153.4	17,653.4	130.6
薬 剤 師	630.3	51.4	5,554.7	41.1
保 健 師	128.0	10.4	1,911.0	14.1
助 産 師	340.3	27.8	3,397.5	25.1
看 護 師	9,362.2	763.8	84,349.0	624.1
准 看 護 師	657.1	53.6	12,042.5	89.1
歯 科 衛 生 士	1,238.5	101.0	12,468.0	92.3
歯 科 技 工 士	123.4	10.1	1,078.8	8.0
理 学 療 法 士	647.2	52.8	6,005.5	44.4
作 業 療 法 士	226.6	18.5	2,899.6	21.5
診 療 放 射 線 技 師	706.9	57.8	5,719.1	42.3
診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	16.1	1.3	250.8	1.9
臨 床 工 学 技 士	287.9	23.5	2,469.5	18.3

注1：従事者数は、常勤換算（従事者について、その職務に従事した1週間の勤務時間を当該医療施設の通常の1週間の勤務時間で除した数）である。

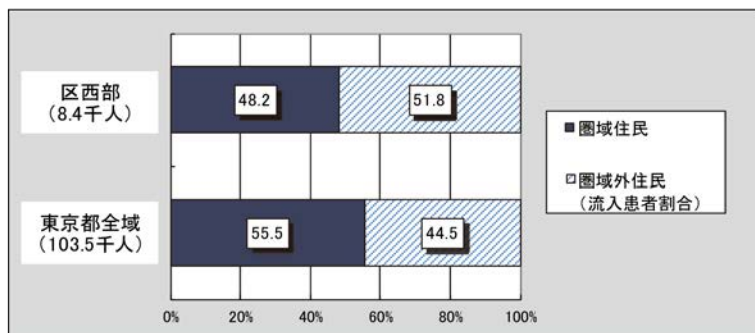
注2：病院、一般診療所及び歯科診療所の従事者の計である。

注3：人口10万対従事者数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

出典：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」（平成26年10月）

2 受療の状況

図表 区西部保健医療圏内施設における
圏域住民－圏域外住民の受療割合
(病院の推計入院患者)

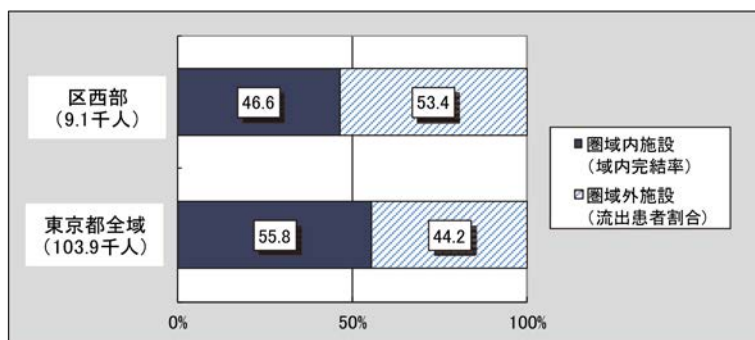


この圏域における病院（入院）の受療割合をみると、流入患者割合 51.8% に対して流出患者割合 53.4% と流出超過になっています。

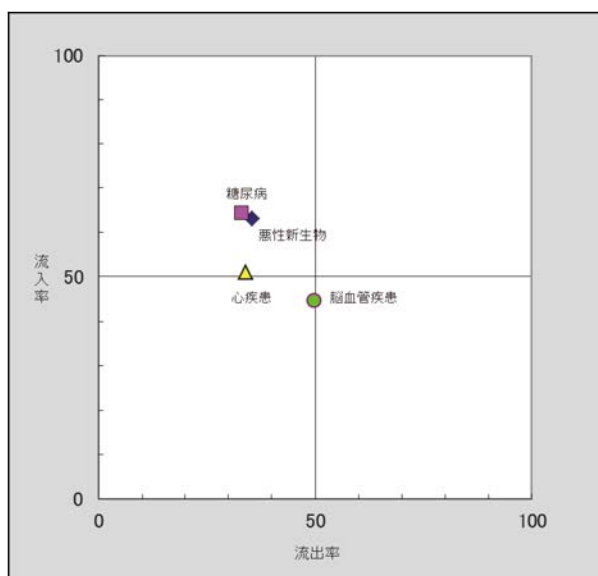
域内完結率は 46.6% と東京都全域の割合をかなり下回っています。

主要傷病別流入流出状況をみると、悪性新生物及び糖尿病の流入率が 50% 以上になっています。

図表 区西部保健医療圏内住民の
圏域内－圏域外受療割合
(病院の推計入院患者)



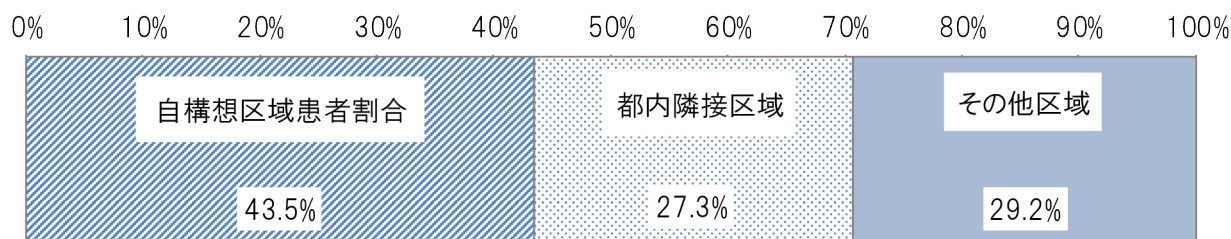
図表 区西部の主要傷病別流入流出状況
(病院の推計入院患者)



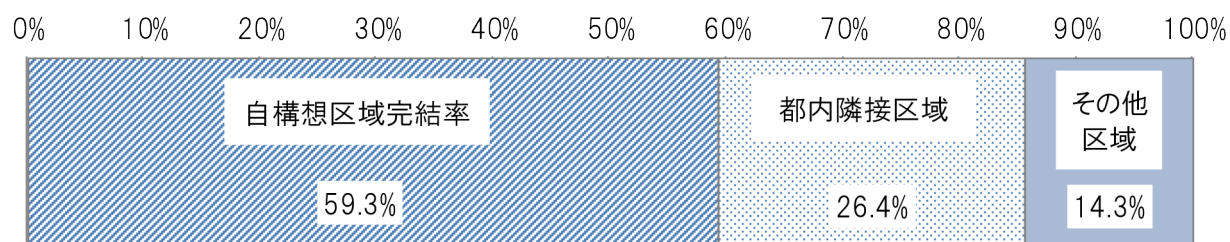
資料：厚生労働省「患者調査」（平成 26 年）

<高度急性期機能>

図表 区西部の医療機関に入院する患者の住所地

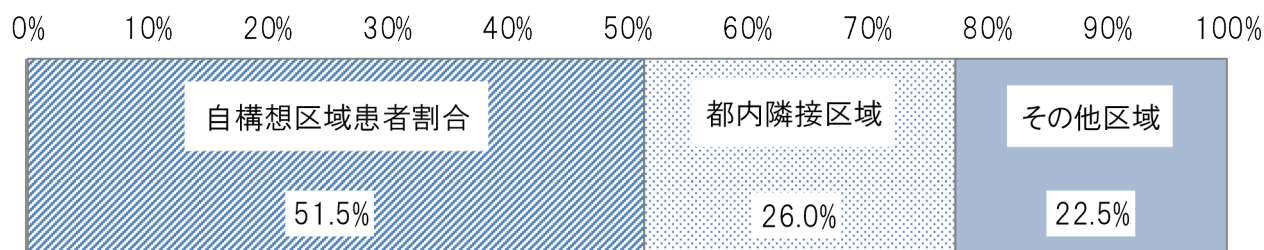


図表 区西部在住の患者が入院する医療機関の所在地

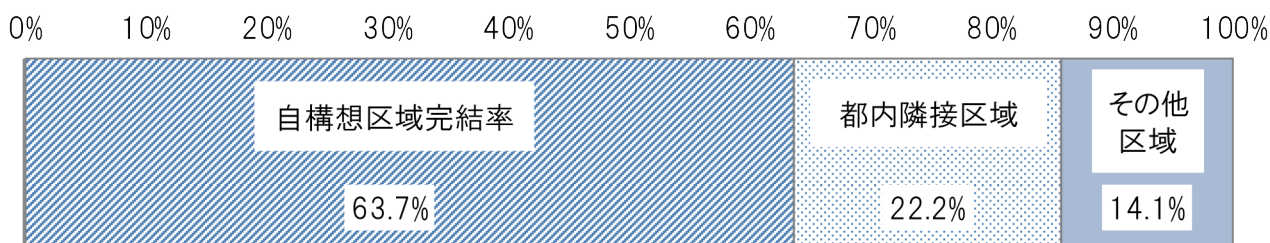


<急性期機能>

図表 区西部の医療機関に入院する患者の住所地



図表 区西部在住の患者が入院する医療機関の所在地

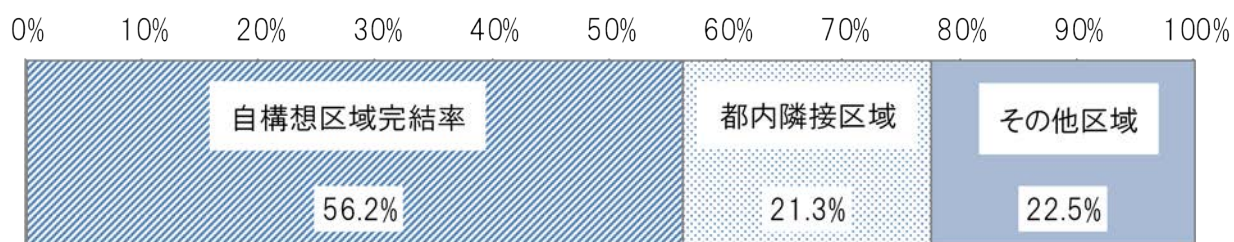


<回復期機能>

図表 区西部の医療機関に入院する患者の住所地

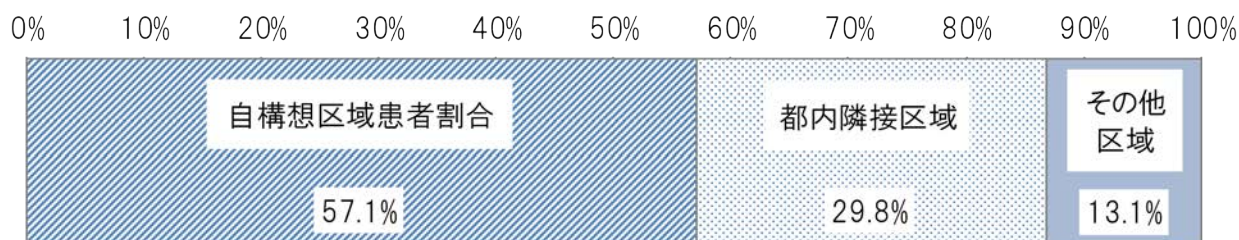


図表 区西部在住の患者が入院する医療機関の所在地

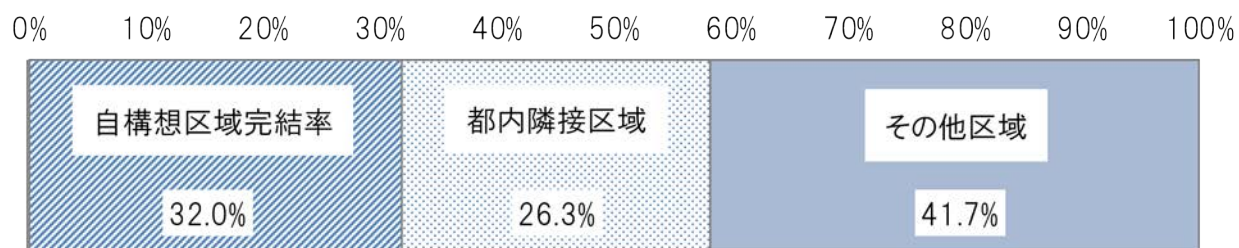


<慢性期機能>

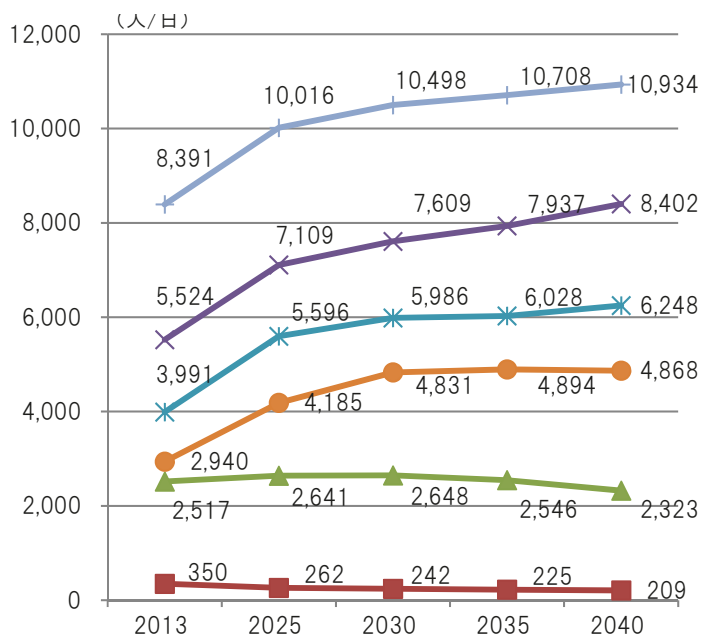
図表 区西部の医療機関に入院する患者の住所地



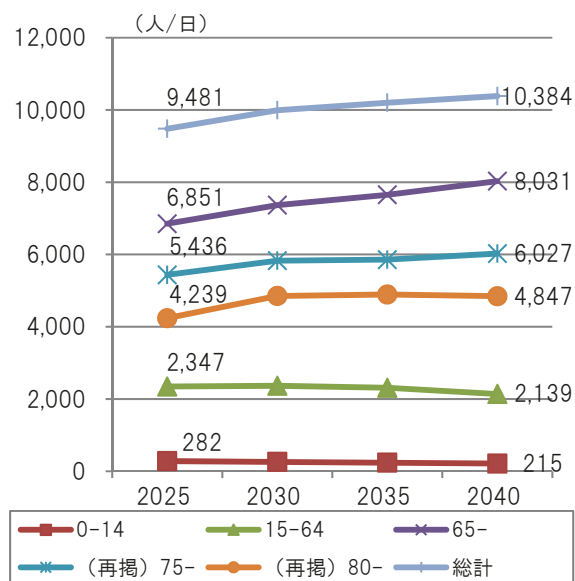
図表 区西部在住の患者が入院する医療機関の所在地



図表 医療機関所在地ベースの推計患者数



(参考) 患者住所地ベースの推計患者数



注 平成 25 年（2013 年）における医療需要は、医療機関所在地ベースにて算出されるため、患者住所地ベースの医療需要推計は平成 37 年（2025 年）以降を掲載

主要疾患別にみた患者の伸び率と自構想区域完結率（2025年）【グラフ左側：全年齢／右側：75歳以上】



【凡例】

■ 2013年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年患者住所地ベースの患者数(人/日)

患者伸び率

自構想区域完結率

＜圏域の特徴＞

高度急性期機能	・ 特定機能病院が3施設（大学病院本院は3施設）所在 ・ 自構想区域完結率は59.3%だが、都内隣接区域を含めると85.7%と高い。 ・ 都内医療機関における高度急性期機能相当の患者の約13%を受け入れており、区中央部に次いで高い。 ・ 他の区域から多くの患者を受け入れる一方で、区西部在住の患者のうち40.7%は他の構想区域に流出
急性期機能	・ 自構想区域完結率は63.7%だが、都内隣接区域を含めると85.9%と高い。 ・ 高度急性期機能同様、埼玉県も含めた様々な区域から患者が流入
回復期機能	・ 自構想区域完結率は56.2%だが、都内隣接区域を含めると77.5% ・ 高度急性期機能や急性期機能に比べ、都内隣接区域を含めた完結率は低い。 ・ 人口10万人当たりの回復期リハビリテーション病床数は、都平均の約1.1倍
慢性期機能	・ 高齢者人口10万人当たりの医療療養病床数は、都平均の約9割

図表 平成37年（2025年）の病床数の必要量等

(上段:人/日、下段:床)					(人/日)	
	高度急性期 機能	急性期 機能	回復期 機能	慢性期 機能	在宅医療等	(再掲) 訪問診療のみ
患者数	1,542	3,886	3,550	1,043	21,932	16,490
病床数	2,056	4,982	3,944	1,134	—	—

注 高度急性期機能から慢性期機能までは、いずれも医療機関所在地ベースの考えに基づき、また、在宅医療等については、患者住所地ベースで将来の必要量を推計

5 区西北部保健医療圏

地理上の位置



1 基本情報

1 人口・面積

図表 人口・面積・人口密度・世帯数等

区 分	人 口（人）			面 積	人口密度	世 帯 数	一世帯当 たり人員
	総 数	男 性	女 性	(km ²)	(人 / km ²)	(世帯)	(人)
東 京 都	13,515,271	6,666,690	6,848,581	2,190.93	6,168.7	6,701,122	2.02
区西北部	1,915,881	944,857	971,024	113.92	16,817	984,150	1.95

出典：総務省「国勢調査」(平成 27 年) 国土交通省国土地理院「平成 27 年全国都道府県市区町村別面積調査」

人口は平成 27 年 10 月 1 日現在 1,915,881 人であり、東京都の人口の 14.2%に当たります。

2 医療施設・医療従事者の状況

図表 病院数

区 分	区西北部	東 京 都
病 院 総 数	95	642
一 般 病 院	91	592
精 神 科 病 院	4	50
結 核 療 養 所	0	0
【再掲】地域医療支援病院	2	25
【再掲】救急告示病院	52	310
【再掲】療養病床を有する病院	38	245
一 般 診 療 所	1,625	12,780
【再掲】有床診療所	65	431

出典：厚生労働省「医療施設調査」(平成 26 年 10 月)

図表 病院病床数

区 分	病床数		人口10万対病床数	
	区西北部	東京都	区西北部	東京都
病院病床総数	17,121	127,110	893.6	940.5
一般病床	10,126	81,125	528.5	600.2
療養病床	3,643	22,708	190.1	168.0
精神病床	3,320	22,612	173.3	167.3
結核病床	12	520	0.6	3.8
感染症病床	20	145	1.0	1.1

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

出典：厚生労働省「医療施設調査」（平成26年10月）

図表 主な入院基本料別病床数

区西北部の届出状況	病床数	区西北部 人口10万対	（参考）都内 人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	1,737	91.8	86.4
一般病棟7対1入院基本料	3,552	187.8	250.7
一般病棟10対1入院基本料	1,560	82.5	88.5
一般病棟13対1入院基本料	803	42.4	17.8
一般病棟15対1入院基本料	517	27.3	21.4
療養病棟入院基本料 ※1	1,940	456.5	470.2
療養型介護療養施設サービス費 （介護療養病床として使用） ※2	527	124.0	146.2
障害者施設等入院基本料	709	37.5	31.3
特殊疾患入院医療管理料/入院料	82	4.3	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	1,178	62.3	47.8
地域包括ケア病棟入院料/管理料	313	16.5	18.7
緩和ケア病棟入院料	45	2.4	4.0

※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は高齢者人口を使用。

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（平成28年1月1日現在）を用いた。

出典：「平成28年度病床機能報告」

図表 医療施設（病院・一般診療所・歯科診療所）における従事者の状況

区 分	区西北部		東京都	
		人口 10 万対		人口 10 万対
医 師	5,386.3	281.1	47,278.0	349.8
歯 科 医 師	1,906.7	99.4	17,653.4	130.6
薬 剤 師	654.1	34.1	5,554.7	41.1
保 健 師	137.8	7.2	1,911.0	14.1
助 産 師	362.7	18.9	3,397.5	25.1
看 護 師	10,070.0	526.6	84,349.0	624.1
准 看 護 師	1,859.5	97.1	12,042.5	89.1
歯 科 衛 生 士	1,388.3	72.5	12,468.0	92.3
歯 科 技 工 士	146.7	7.7	1,078.8	8.0
理 学 療 法 士	893.7	46.6	6,005.5	44.4
作 業 療 法 士	462.7	24.2	2,899.6	21.5
診 療 放 射 線 技 師	665.8	34.8	5,719.1	42.3
診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	16.6	0.9	250.8	1.9
臨 床 工 学 技 士	362.6	18.9	2,469.5	18.3

注1：従事者数は、常勤換算（従事者について、その職務に従事した1週間の勤務時間を当該医療施設の通常の1週間の勤務時間で除した数）である。

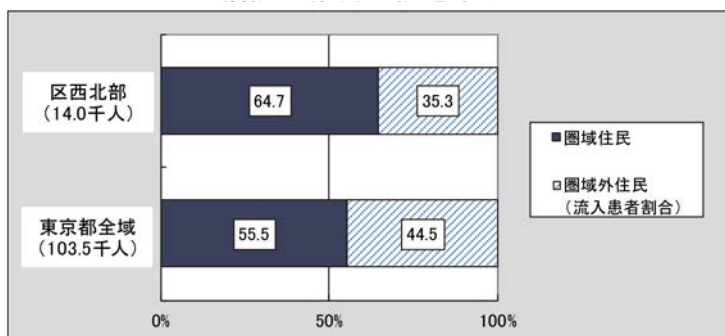
注2：病院、一般診療所及び歯科診療所の従事者の計である。

注3：人口10万対従事者数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

出典：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」（平成26年10月）

2 受療の状況

図表 区西北部保健医療圏内施設における
圏域住民－圏域外住民の受療割合
(病院の推計入院患者)

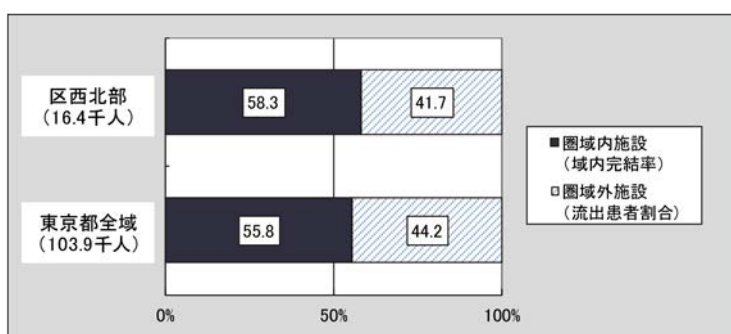


この圏域における病院（入院）の受療割合をみると、流入患者割合 35.3% に対して流出患者割合 41.7% と流出超過になっています。

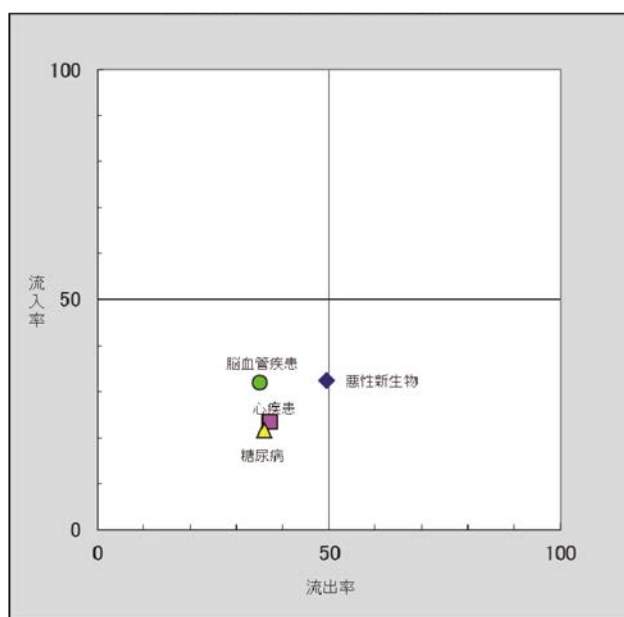
域内完結率は 58.3% と東京都全域の割合をやや上回っています。

主要傷病別流入流出状況をみると、悪性新生物、脳血管疾患、心疾患、糖尿病のいずれにおいても、流入・流出率ともに 50% 以内に収束しています。

図表 区西北部保健医療圏内住民の
圏域内－圏域外受療割合
(病院の推計入院患者)



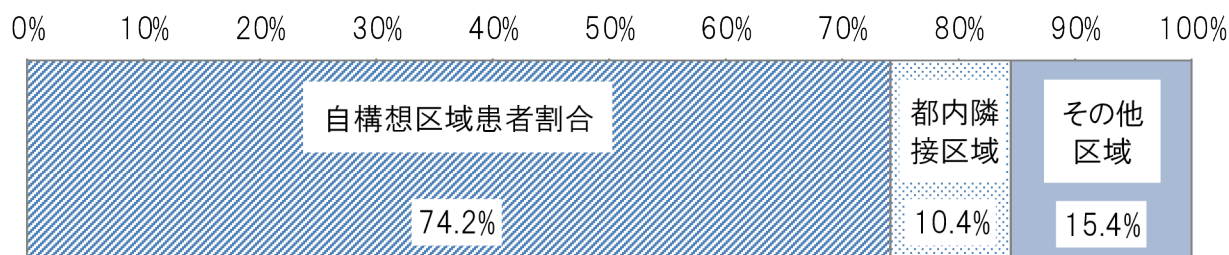
図表 区西北部の主要傷病別流入流出状況
(病院の推計入院患者)



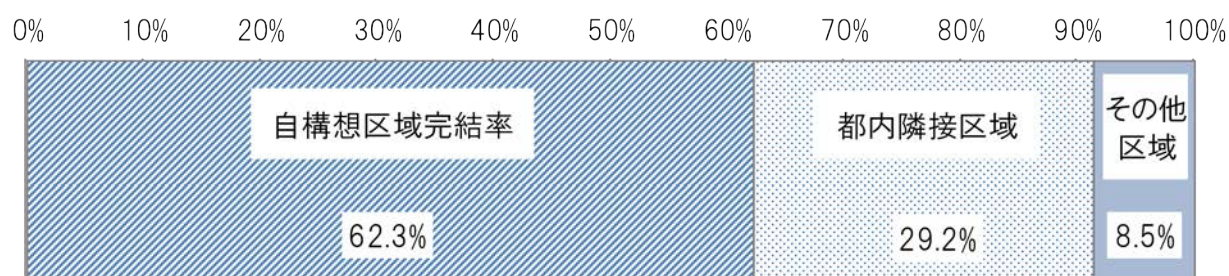
資料：厚生労働省「患者調査」（平成 26 年）

<高度急性期機能>

図表 区西北部の医療機関に入院する患者の住所地

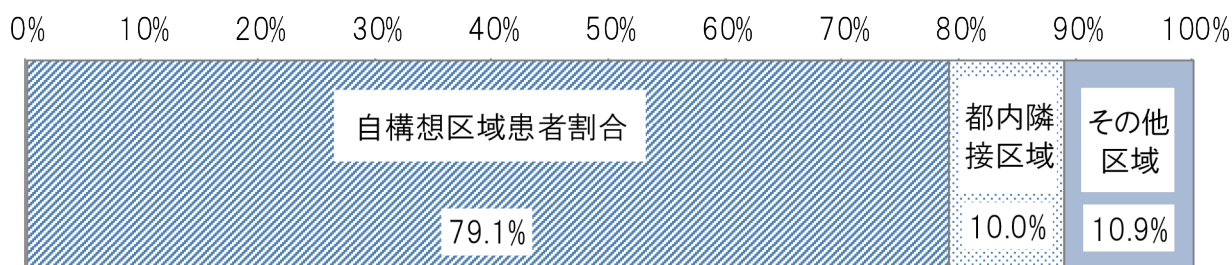


図表 区西北部在住の患者が入院する医療機関の所在地

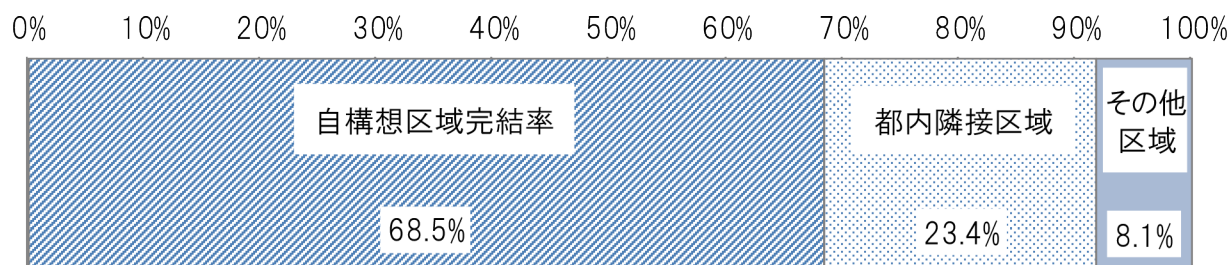


<急性期機能>

図表 区西北部の医療機関に入院する患者の住所地

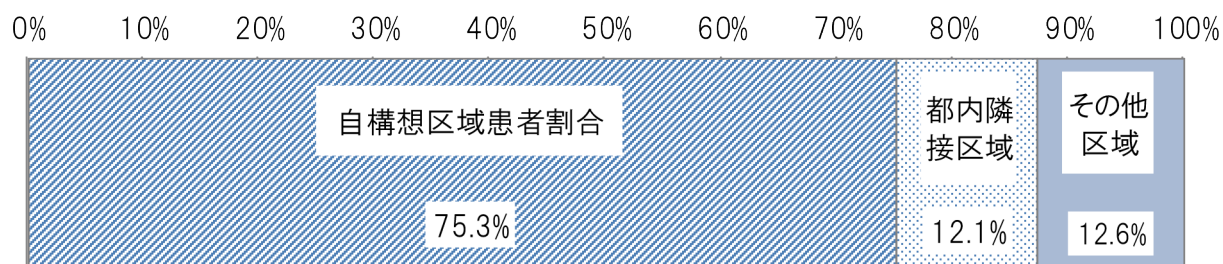


図表 区西北部在住の患者が入院する医療機関の所在地

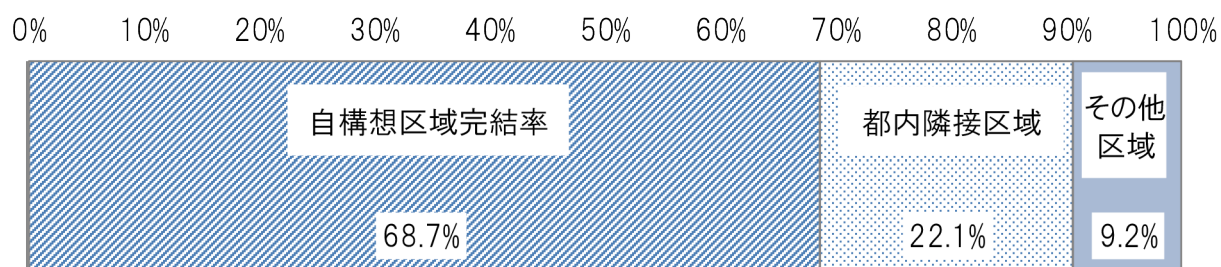


<回復期機能>

図表 区西北部の医療機関に入院する患者の住所地



図表 区西北部在住の患者が入院する医療機関の所在地

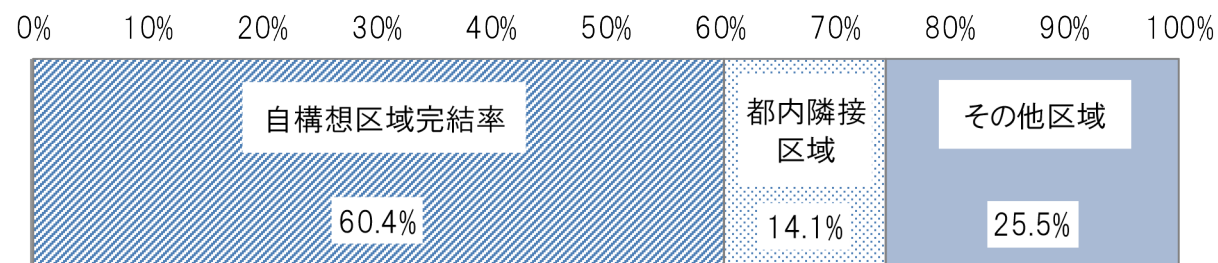


<慢性期機能>

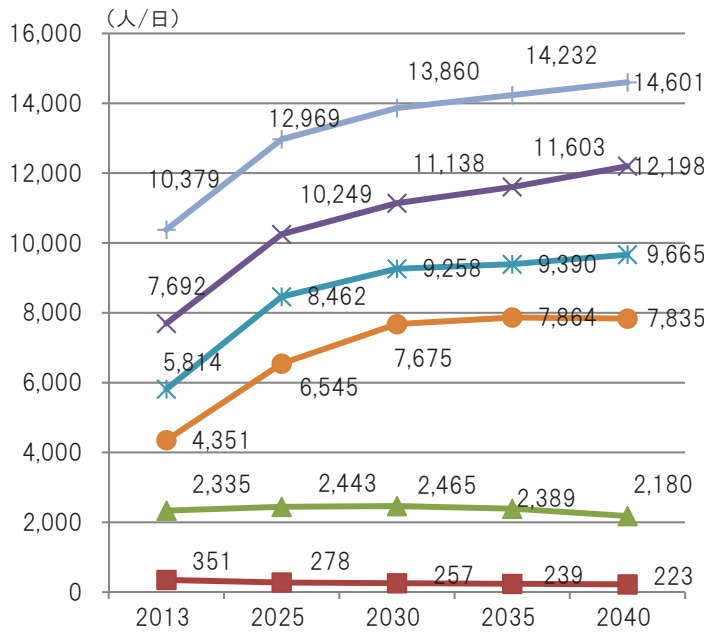
図表 区西北部の医療機関に入院する患者の住所地



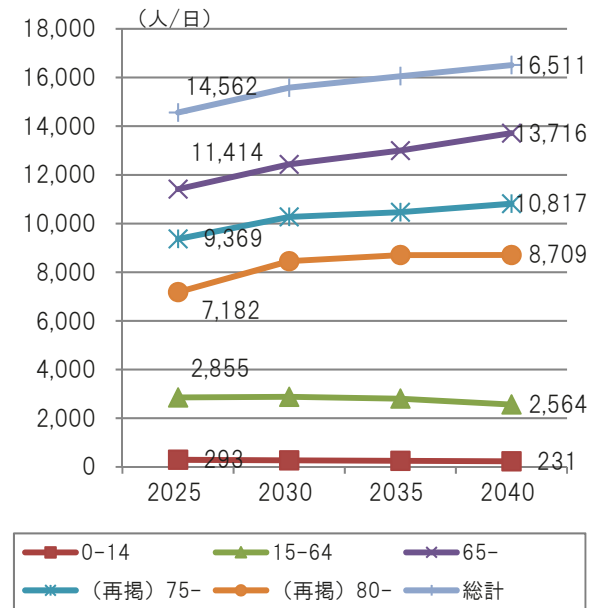
図表 区西北部在住の患者が入院する医療機関の所在地



図表 医療機関所在地ベースの推計患者数

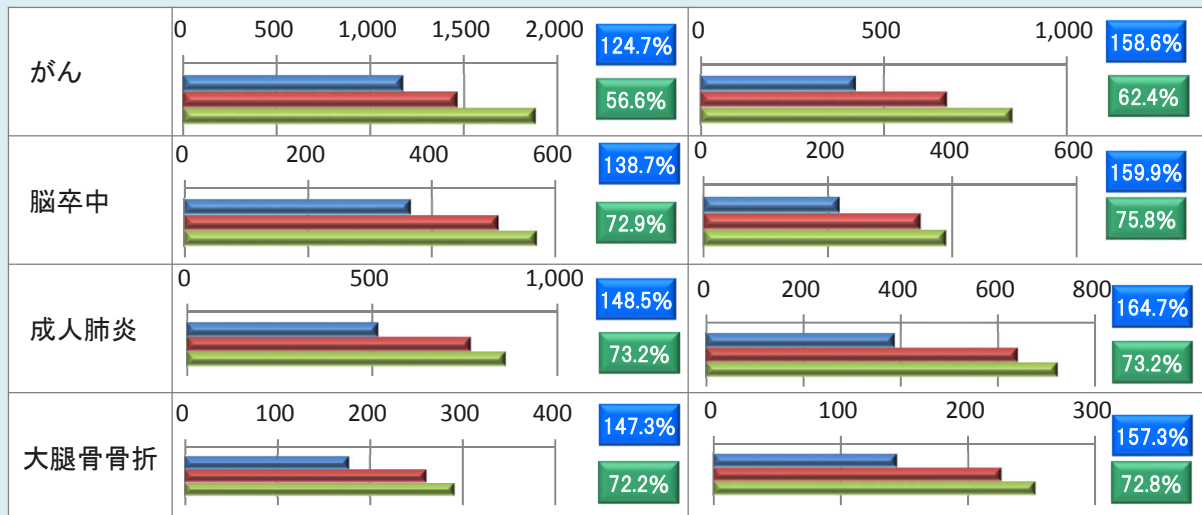


(参考) 患者住所地ベースの推計患者数



注 平成 25 年（2013 年）における医療需要は、医療機関所在地ベースにて算出されるため、患者住所地ベースの医療需要推計は平成 37 年（2025 年）以降を掲載

主要疾患別にみた患者の伸び率と自構想区域完結率（2025年）【グラフ左側：全年齢／右側：75歳以上】



【凡例】

■ 2013年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年患者住所地ベースの患者数(人/日)

患者伸び率

自構想区域完結率

<圏域の特徴>

高度急性期機能	・ 特定機能病院が2施設（大学病院本院は2施設）所在 ・ 自構想区域完結率は62.3%で区部で2番目に高く、都内隣接区域を含めると91.5%
急性期機能	・ 自構想区域完結率は68.5%で、都内隣接区域を含めると91.9%と都内で最も高い。 ・ 高度急性期機能から引き続き入院する患者も含めて、埼玉県からの流入が多く、流入患者の約3割を占める。
回復期機能	・ 自構想区域完結率は68.7%で、都内隣接区域を含めると90.8%と高い。 ・ 人口10万人当たりの回復期リハビリテーション病床数は、都平均の約1.3倍で都内構想区域で最も多い。
慢性期機能	・ 人口10万人当たりの障害者施設等入院基本料を算定している病床数は、都平均の約1.2倍、特殊疾患入院料を算定している病床は、都平均の約2.1倍 ・ 自構想区域完結率は60.4%と区部で2番目に高く、都内隣接区域を含めると74.5% ・ 埼玉県への流出が多く、流出患者の約3割を占める。

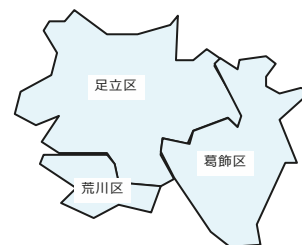
図表 平成37年（2025年）の病床数の必要量等

(上段:人/日、下段:床)					(人/日)	
	高度急性期 機能	急性期 機能	回復期 機能	慢性期 機能	在宅医療等	(再掲) 訪問診療のみ
患者数	1,384	4,300	4,391	2,895	28,844	20,956
病床数	1,845	5,513	4,879	3,147	—	—

注 高度急性期機能から慢性期機能までは、いずれも医療機関所在地ベースの考えに基づき、また、在宅医療等については、患者住所地ベースで将来の必要量を推計

6 区東北部保健医療圏

地理上の位置



1 基本情報

1 人口・面積

図表 人口・面積・人口密度・世帯数等

区 分	人 口 (人)			面 積	人口密度	世 帯 数	一世帯当 たり人員
	総 数	男 性	女 性	(km ²)	(人 / km ²)	(世帯)	(人)
東 京 都	13,515,271	6,666,690	6,848,581	2,190.93	6,168.7	6,701,122	2.02
区東北部	1,325,299	661,656	663,643	98.21	13,495	615,143	2.15

出典：総務省「国勢調査」(平成 27 年) 国土交通省国土地理院「平成 27 年全国都道府県市区町村別面積調査」

人口は平成 27 年 10 月 1 日現在 1,325,299 人であり、東京都の人口の 9.8%に当たります。

2 医療施設・医療従事者の状況

図表 病院数

区 分	区東北部	東 京 都
病 院 総 数	86	642
一 般 病 院	81	592
精 神 科 病 院	5	50
結 核 療 養 所	0	0
【再掲】地域医療支援病院	1	25
【再掲】救急告示病院	41	310
【再掲】療養病床を有する病院	32	245
一 般 診 療 所	934	12,780
【再掲】有床診療所	45	431

出典：厚生労働省「医療施設調査」(平成 26 年 10 月)

図表 病院病床数

区 分	病床数		人口10万対病床数	
	区東北部	東京都	区東北部	東京都
病院病床総数	10,412	127,110	785.6	940.5
一般病床	6,863	81,125	517.8	600.2
療養病床	2,055	22,708	155.1	168.0
精神病床	1,453	22,612	109.6	167.3
結核病床	36	520	2.7	3.8
感染症病床	5	145	0.4	1.1

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

出典：厚生労働省「医療施設調査」（平成26年10月）

図表 主な入院基本料別病床数

区東北部の届出状況	病床数	区東北部 人口10万対	（参考）都内 人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	0	0.0	86.4
一般病棟7対1入院基本料	1,725	128.5	250.7
一般病棟10対1入院基本料	2,233	166.3	88.5
一般病棟13対1入院基本料	650	48.4	17.8
一般病棟15対1入院基本料	478	35.6	21.4
療養病棟入院基本料 ※1	1,587	487.2	470.2
療養型介護療養施設サービス費 （介護療養病床として使用） ※2	327	100.4	146.2
障害者施設等入院基本料	531	39.5	31.3
特殊疾患入院医療管理料/入院料	51	3.8	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	711	53.0	47.8
地域包括ケア病棟入院料/管理料	164	12.2	18.7
緩和ケア病棟入院料	0	0.0	4.0

※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は高齢者人口を使用。

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（平成28年1月1日現在）を用いた。

出典：「平成28年度病床機能報告」

図表 医療施設（病院・一般診療所・歯科診療所）における従事者の状況

区 分	区東北部		東京都	
		人口 10 万対		人口 10 万対
医 師	2,938.6	221.7	47,278.0	349.8
歯 科 医 師	1,253.7	94.6	17,653.4	130.6
薬 剤 師	376.8	28.4	5,554.7	41.1
保 健 師	15.6	1.2	1,911.0	14.1
助 産 師	271.9	20.5	3,397.5	25.1
看 護 師	5,083.6	383.5	84,349.0	624.1
准 看 護 師	1,692.7	127.7	12,042.5	89.1
歯 科 衛 生 士	863.9	65.2	12,468.0	92.3
歯 科 技 工 士	55.4	4.2	1,078.8	8.0
理 学 療 法 士	621.3	46.9	6,005.5	44.4
作 業 療 法 士	238.3	18.0	2,899.6	21.5
診 療 放 射 線 技 師	397.3	30.0	5,719.1	42.3
診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	20.3	1.5	250.8	1.9
臨 床 工 学 技 士	244.7	18.5	2,469.5	18.3

注1：従事者数は、常勤換算（従事者について、その職務に従事した1週間の勤務時間を当該医療施設の通常の1週間の勤務時間で除した数）である。

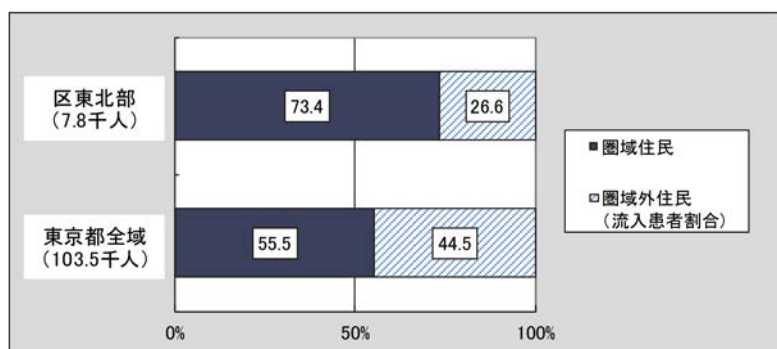
注2：病院、一般診療所及び歯科診療所の従事者の計である。

注3：人口10万対従事者数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

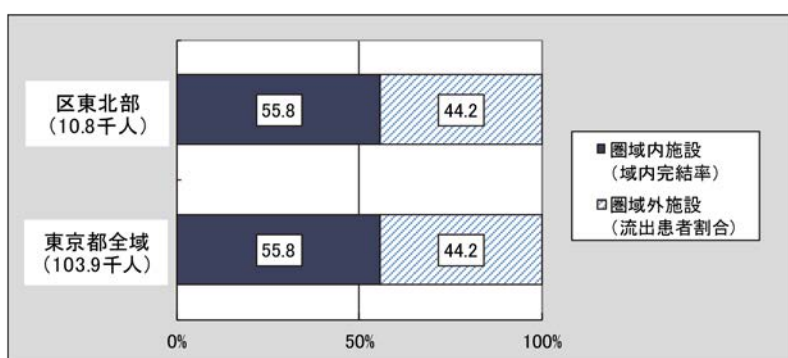
出典：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」（平成26年10月）

2 受療の状況

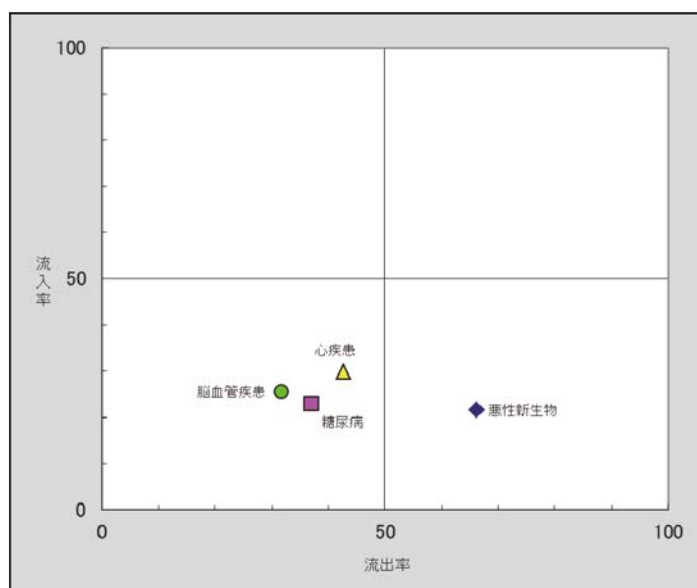
図表 区東北部保健医療圏内施設における
圏域住民－圏域外住民の受療割合
(病院の推計入院患者)



図表 区東北部保健医療圏内住民の
圏域内－圏域外受療割合
(病院の推計入院患者)



図表 区東北部の主要傷病別流入流出状況
(病院の推計入院患者)



資料：厚生労働省「患者調査」(平成26年)

この圏域における病院（入院）の受療割合をみると、流入患者割合26.6%に対して流出患者割合44.2%と大幅な流出超過になっています。

域内完結率は55.8%と東京都全域に比べやや低くなっています。

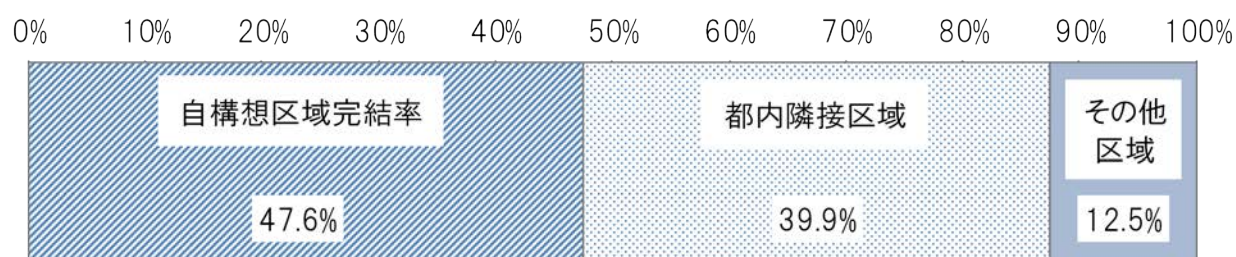
主要傷病別流入流出状況をみると、悪性新生物の流出率が50%以上になっていますが、その他の傷病については流入・流出率とも50%以内に収束しています。

<高度急性期機能>

図表 区東北部の医療機関に入院する患者の住所地

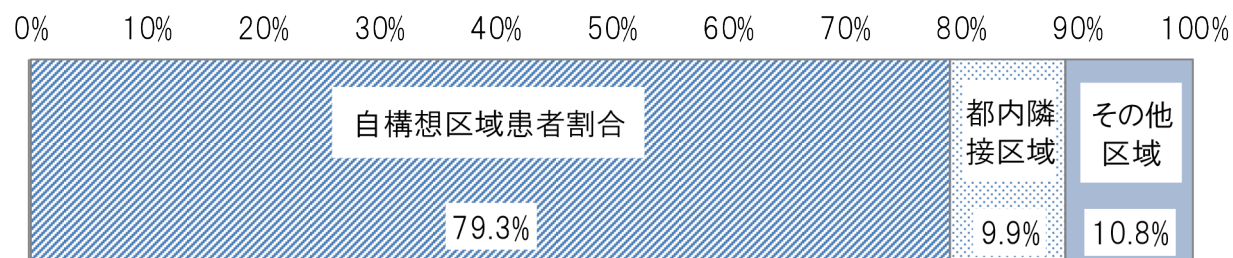


図表 区東北部在住の患者が入院する医療機関の所在地

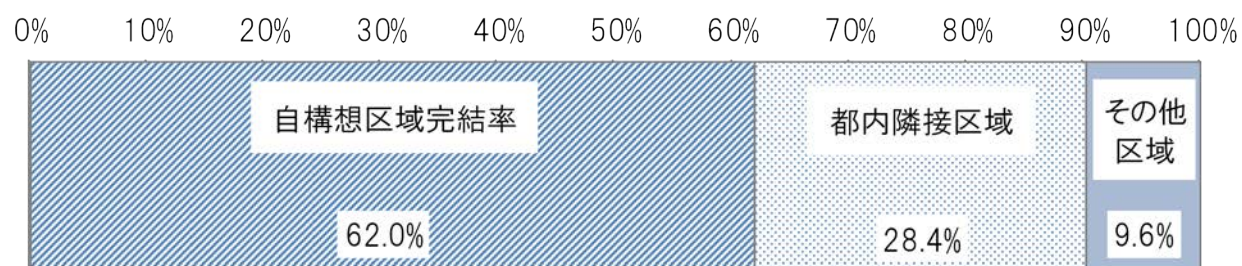


<急性期機能>

図表 区東北部の医療機関に入院する患者の住所地



図表 区東北部在住の患者が入院する医療機関の所在地

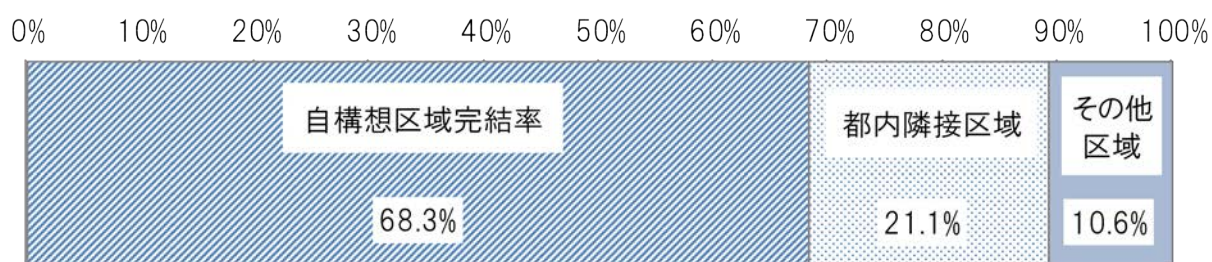


<回復期機能>

図表 区東北部の医療機関に入院する患者の住所地



図表 区東北部在住の患者が入院する医療機関の所在地

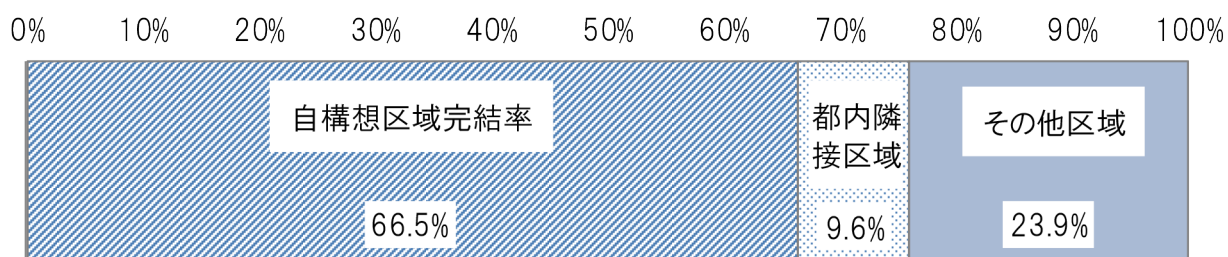


<慢性期機能>

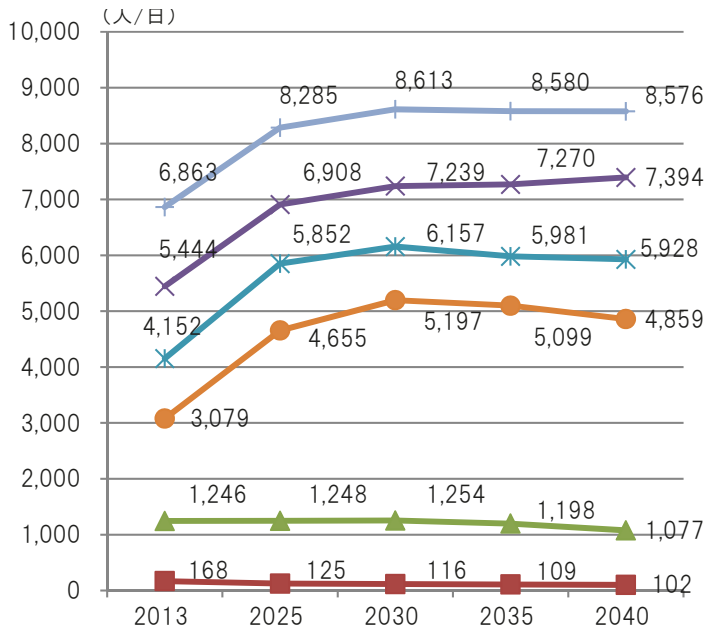
図表 区東北部の医療機関に入院する患者の住所地



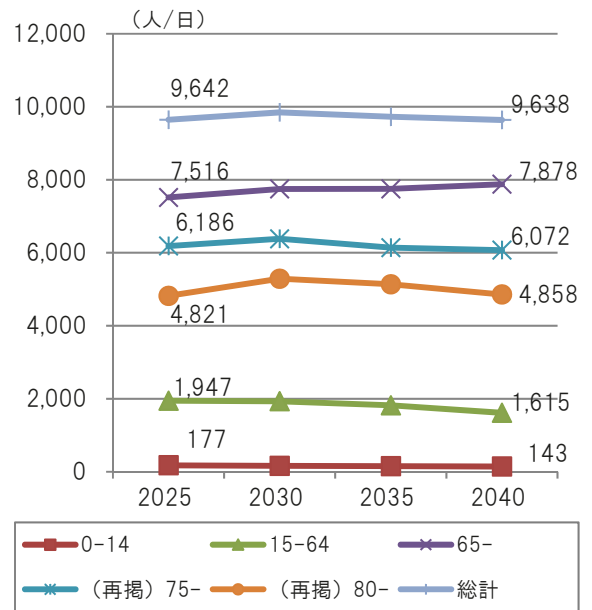
図表 区東北部在住の患者が入院する医療機関の所在地



図表 医療機関所在地ベースの推計患者数

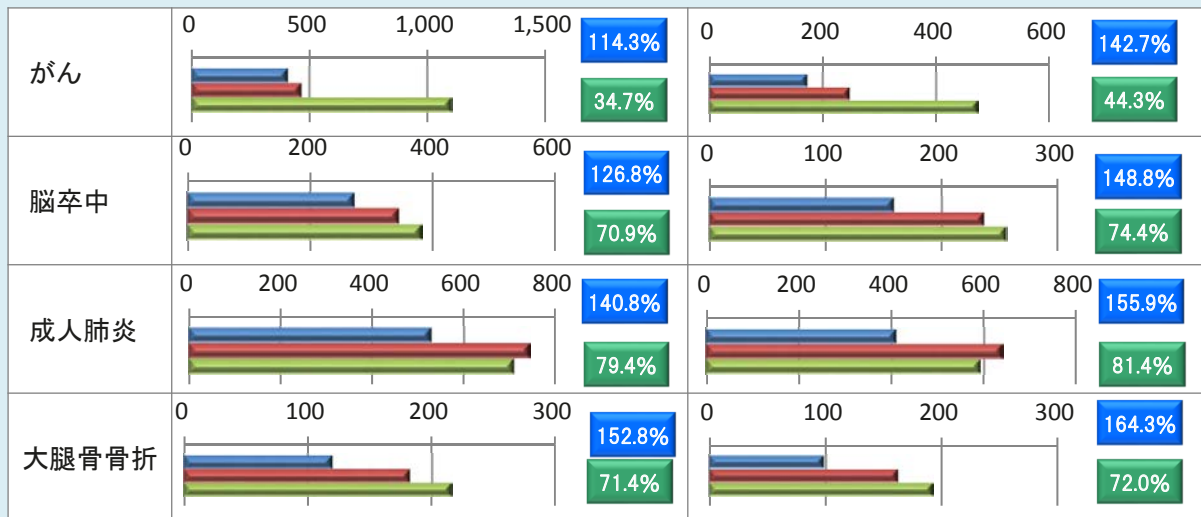


(参考) 患者住所地ベースの推計患者数



注 平成 25 年（2013 年）における医療需要は、医療機関所在地ベースにて算出されるため、患者住所地ベースの医療需要推計は平成 37 年（2025 年）以降を掲載

主要疾患別にみた患者の伸び率と自構想区域完結率（2025年）【グラフ左側：全年齢／右側：75歳以上】



【凡例】

■ 2013年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年患者住所地ベースの患者数(人/日)

患者伸び率

自構想区域完結率

<圏域の特徴>

高度急性期機能	・ 自構想区域完結率は 47.6%と島しょを除く都内構想区域で最も低いが、都内隣接区域を含むと 87.5%と高い。 ・ 区中央部への流出が多く、流出患者の 5 割を超える。
急性期機能	・ 自構想区域完結率は 62.0%だが、都内隣接区域を含むと 90.4%と高い。 ・ 高度急性期機能から引き続き入院している患者も含めて、区中央部への流出が多く、流出患者の約半数を占める。
回復期機能	・ 自構想区域完結率は 68.3%で、都内隣接区域を含むと 89.4%と高い。 ・ 人口 10 万人当たりの回復期リハビリテーション病床数は、都平均の約 1.1 倍 ・ 流出先及び流入元は高度急性期機能や急性期機能と同様の傾向であり、特に高度急性期機能から引き続き入院している患者も含めて区中央部への流出が多い。
慢性期機能	・ 自構想区域完結率は 66.5%と区部で最も高く、都内隣接区域を含むと 76.1%で、同じく区部で最も高い。 ・ 人口 10 万人当たりの障害者施設等入院基本料を算定している病床は、都平均の約 1.3 倍特殊疾患入院料を算定している病床は、都平均の約 1.9 倍

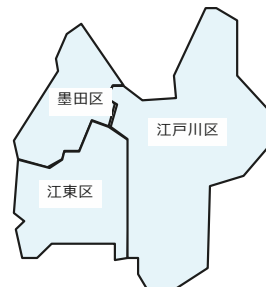
図表 平成 37 年（2025 年）の病床数の必要量等

(上段:人/日、下段:床)					(人/日)	
	高度急性期 機能	急性期 機能	回復期 機能	慢性期 機能	在宅医療等	(再掲) 訪問診療のみ
患者数	628	2,466	3,033	2,159	19,227	14,266
病床数	837	3,162	3,370	2,347	—	—

注 高度急性期機能から慢性期機能までは、いずれも医療機関所在地ベースの考えに基づき、また、在宅医療等については、患者住所地ベースで将来の必要量を推計

7 区東部保健医療圏

地理上の位置



1 基本情報

1 人口・面積

図表 人口・面積・人口密度・世帯数等

区 分	人 口 (人)			面 積	人口密度	世 帯 数	一世帯当 たり人員
	総 数	男 性	女 性	(km ²)	(人 / km ²)	(世帯)	(人)
東 京 都	13,515,271	6,666,690	6,848,581	2,190.93	6,168.7	6,701,122	2.02
区 東 部	1,435,681	718,139	717,542	103.83	13,827	683,642	2.10

出典：総務省「国勢調査」(平成 27 年) 国土交通省国土地理院「平成 27 年全国都道府県市区町村別面積調査」

人口は平成 27 年 10 月 1 日現在 1,435,681 人であり、東京都の人口の 10.6%に当たります。

2 医療施設・医療従事者の状況

図表 病院数

区 分	区東部	東 京 都
病 院 総 数	53	642
一 般 病 院	53	592
精 神 科 病 院	0	50
結 核 療 養 所	0	0
【再掲】地域医療支援病院	1	25
【再掲】救急告示病院	30	310
【再掲】療養病床を有する病院	18	245
一 般 診 療 所	1,030	12,780
【再掲】有床診療所	42	431

出典：厚生労働省「医療施設調査」(平成 26 年 10 月)

図表 病院病床数

区 分	病床数		人口10万対病床数	
	区東部	東京都	区東部	東京都
病院病床総数	8,184	127,110	570.0	940.5
一般病床	6,800	81,125	473.6	600.2
療養病床	1,159	22,708	80.7	168.0
精神病床	165	22,612	11.5	167.3
結核病床	50	520	3.5	3.8
感染症病床	10	145	0.7	1.1

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

出典：厚生労働省「医療施設調査」（平成26年10月）

図表 主な入院基本料別病床数

区東部の届出状況	病床数	区東部 人口10万対	（参考）都内 人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	651	44.9	86.4
一般病棟7対1入院基本料	3,235	223.2	250.7
一般病棟10対1入院基本料	990	68.3	88.5
一般病棟13対1入院基本料	156	10.8	17.8
一般病棟15対1入院基本料	403	27.8	21.4
療養病棟入院基本料 ※1	810	262.9	470.2
療養型介護療養施設サービス費 （介護療養病床として使用） ※2	186	60.4	146.2
障害者施設等入院基本料	191	13.2	31.3
特殊疾患入院医療管理料/入院料	0	0.0	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	361	24.9	47.8
地域包括ケア病棟入院料/管理料	308	21.2	18.7
緩和ケア病棟入院料	83	5.7	4.0

※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は高齢者人口を使用。

注：人口10万対病床数の算出基準となる人口は、東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（平成28年1月1日現在）を用いた。

出典：「平成28年度病床機能報告」

図表 医療施設（病院・一般診療所・歯科診療所）における従事者の状況

区 分	区東部		東京都	
		人口 10 万対		人口 10 万対
医 師	3,250.8	226.4	47,278.0	349.8
歯 科 医 師	1,360.2	94.7	17,653.4	130.6
薬 剤 師	442.6	30.8	5,554.7	41.1
保 健 師	137.0	9.5	1,911.0	14.1
助 産 師	285.6	19.8	3,397.5	25.1
看 護 師	5,848.3	407.4	84,349.0	624.1
准 看 護 師	1,213.4	84.5	12,042.5	89.1
歯 科 衛 生 士	973.5	67.8	12,468.0	92.3
歯 科 技 工 士	50.3	3.5	1,078.8	8.0
理 学 療 法 士	486.9	33.9	6,005.5	44.4
作 業 療 法 士	183.3	12.8	2,899.6	21.5
診 療 放 射 線 技 師	453.2	31.6	5,719.1	42.3
診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	22.8	1.6	250.8	1.9
臨 床 工 学 技 士	167.3	11.7	2,469.5	18.3

注1：従事者数は、常勤換算（従事者について、その職務に従事した1週間の勤務時間を当該医療施設の通常の1週間の勤務時間で除した数）である。

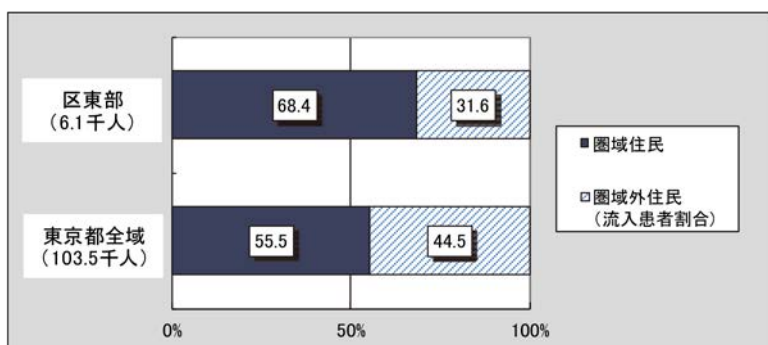
注2：病院、一般診療所及び歯科診療所の従事者の計である。

注3：人口10万対従事者数の算出基準となる人口は、総務省「国勢調査」（平成27年）を用いた。

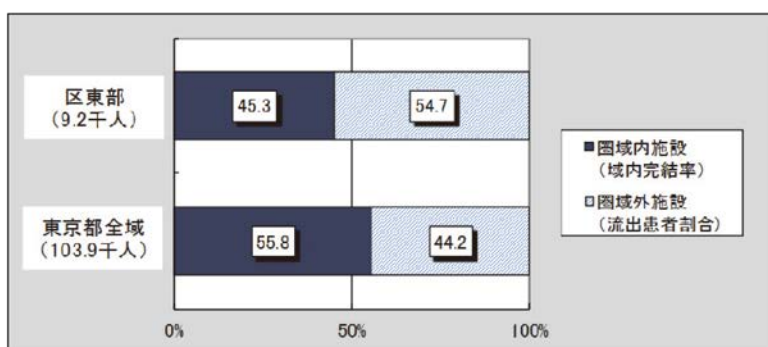
出典：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」（平成26年10月）

2 受療の状況

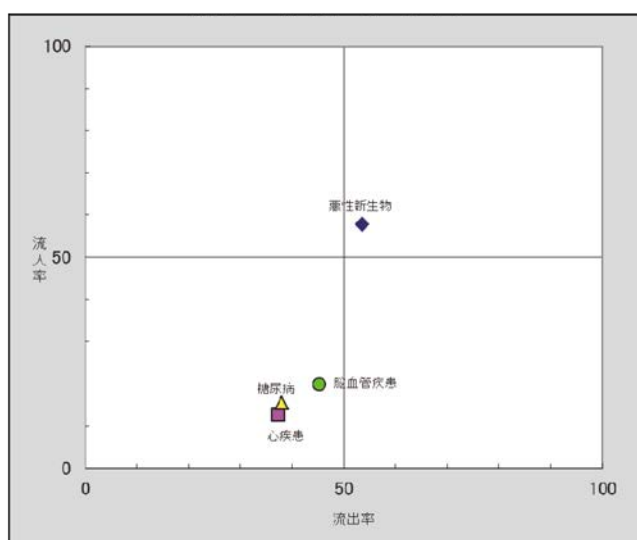
図表 区東部保健医療圏内施設における
圏域住民－圏域外住民の受療割合
(病院の推計入院患者)



図表 区東部保健医療圏内住民の
圏域内－圏域外受療割合
(病院の推計入院患者)



図表 区東部の主要傷病別流入流出状況
(病院の推計入院患者)



資料：厚生労働省「患者調査」(平成26年)

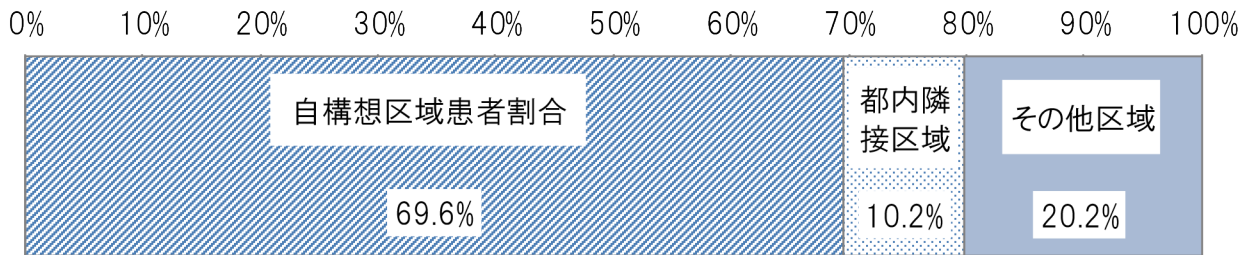
この圏域における病院（入院）の受療割合をみると、流入患者割合31.6%に対して流出患者割合54.7%と大幅な流出超過になっています。

域内完結率は45.3%と東京都全域の割合と比べてかなり低くなっています。

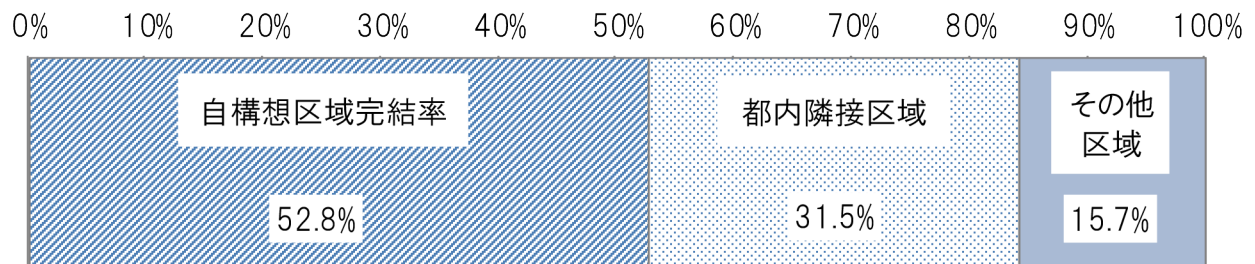
主要傷病別流入流出状況をみると、悪性新生物の流入・流出率が50%以上になっていますが、その他の傷病については流入・流出率とも50%以内に収束しています。

<高度急性期機能>

図表 区東部の医療機関に入院する患者の住所地

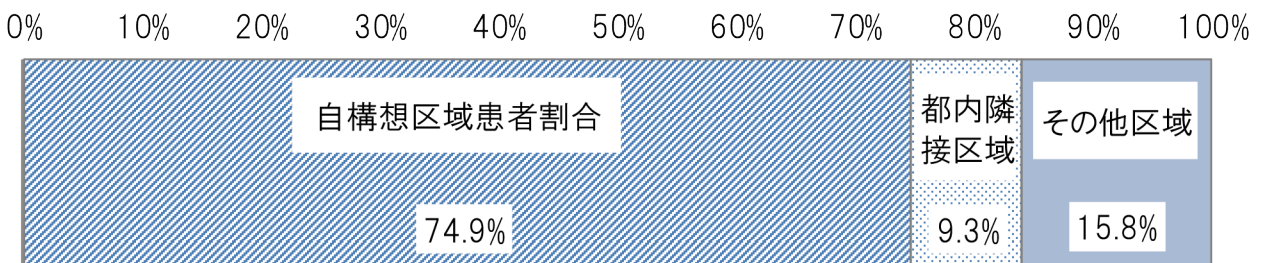


図表 区東部在住の患者が入院する医療機関の所在地

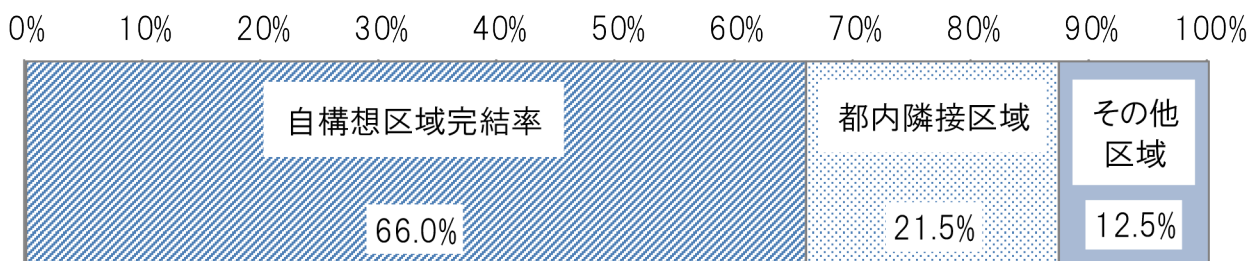


<急性期機能>

図表 区東部の医療機関に入院する患者の住所地



図表 区東部在住の患者が入院する医療機関の所在地



<回復期機能>

図表 区東部の医療機関に入院する患者の住所地

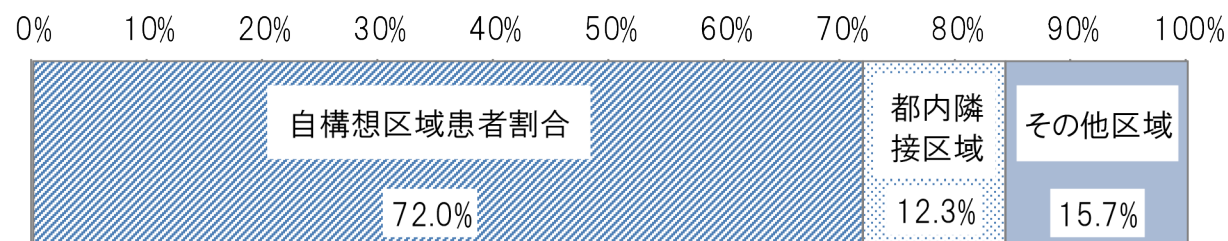


図表 区東部在住の患者が入院する医療機関の所在地

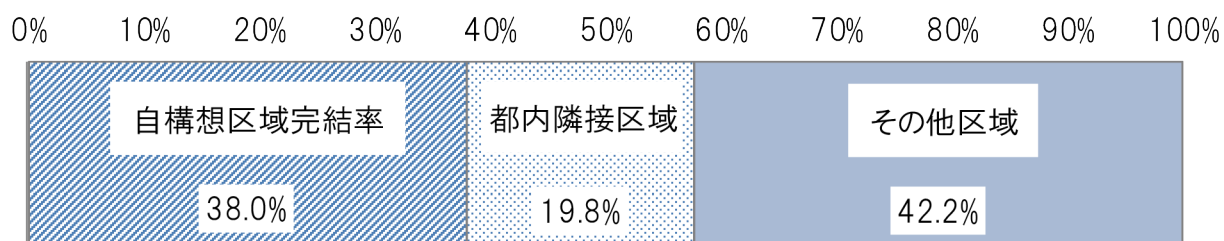


<慢性期機能>

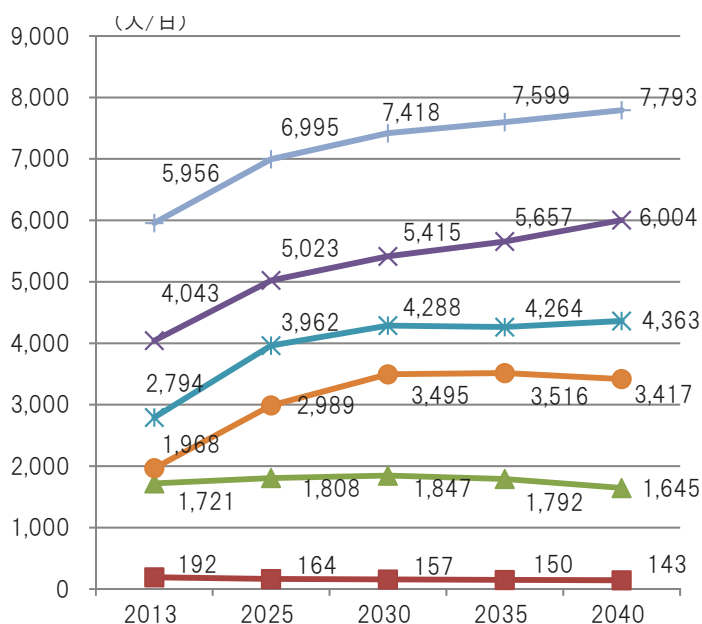
図表 区東部の医療機関に入院する患者の住所地



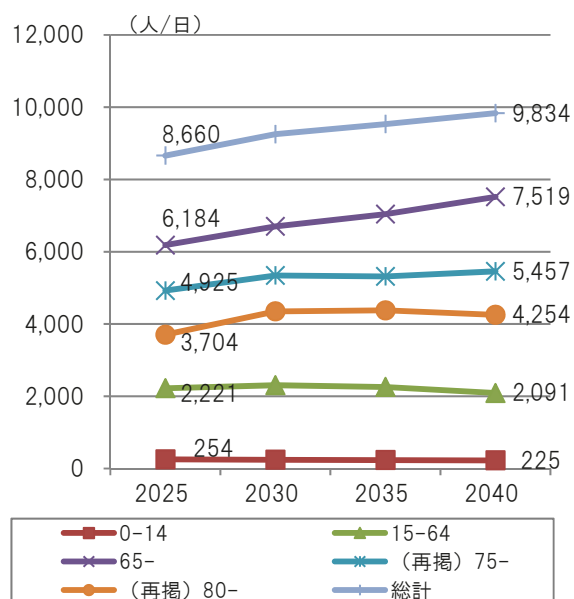
図表 区東部在住の患者が入院する医療機関の所在地



図表 医療機関所在地ベースの推計患者数



(参考) 患者住所地ベースの推計患者数



注 平成 25 年（2013 年）における医療需要は、医療機関所在地ベースにて算出されるため、患者住所地ベースの医療需要推計は平成 37 年（2025 年）以降を掲載

主要疾患別にみた患者の伸び率と自構想区域完結率（2025年）【グラフ左側：全年齢／右側：75歳以上】



【凡例】

■ 2013年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
■ 2025年患者住所地ベースの患者数(人/日)

患者伸び率

自構想区域完結率

<圏域の特徴>

高度急性期機能	・ 特定機能病院が1施設所在 ・ 自構想区域完結率は52.8%で、都内隣接区域を含むと84.3% ・ 高度医療が集積する区中央部への流出が多く、流出患者のうち約6割を占める。
急性期機能	・ 自構想区域完結率は66.0%で、都内隣接区域を含めると87.5%と高い。 ・ 高度急性期機能から引き続き入院している患者も含めて、区中央部への流出が多く、流出患者の約5割を占める。
回復期機能	・ 自構想区域完結率は64.9%で、都内隣接区域を含めると84.7% ・ 人口10万人当たりの回復期リハビリテーション病床数は、都平均の約5割 ・ 流出先・流入元は急性期機能と同様の傾向であり、高度急性期機能から引き続き入院している患者も含めて区中央部への流出が多い。
慢性期機能	・ 高齢者人口10万人当たりの医療療養病床数は、都平均の約6割、介護療養病床数は都平均の約4割 ・ 流出先としては、区東北部と千葉県が多い。

図表 平成37年（2025年）の病床数の必要量等

(上段:人/日、下段:床)					(人/日)	
	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	在宅医療等	(再掲) 訪問診療のみ
患者数	816	2,834	2,465	880	15,672	11,522
病床数	1,088	3,633	2,739	957	—	—

注 高度急性期機能から慢性期機能までは、いずれも医療機関所在地ベースの考えに基づき、また、在宅医療等については、患者住所地ベースで将来の必要量を推計